

# いわての観光統計

「観光入込客統計に関する共通基準」  
に基づく統計量推計結果  
(平成26年1月~3月)



岩手県PRキャラクター「わんこきょうだい」

平成26年8月

岩手県 商工労働観光部 観光課

# 目 次

## 第1部:「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

1. 調査概要	1
(1) 調査対象期間	1
(2) 共通基準について	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査体系	2
(5) 集計対象(範囲)	2
(6) 用語の定義	3
(7) その他	4
①延べ人数と実人数について	4
②調査エリアについて	4
2. 調査結果	5
(1) 調査対象地点数	5
(2) 観光地点等入込客数(延べ人数)	5
①総数	5
②地域別入込客数	5
③月別入込客数	6
④市町村別・月別入込客数	7
⑤地域別・分類別入込客数	11
(3) 観光入込客数(実人数)	12
(4) 観光消費額	15
①観光消費額単価(日帰り宿泊別・県内県外別)	15
②観光消費額(日帰り宿泊別・県内県外別)	17

## 第2部:観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

1. 調査概要	19
2. 観光客の動向分析	20
(1) 問1 住まいの地域	20
(2) 問2 性別・年代	21
(3) 問3 宿泊形態および宿泊数	22
(4) 問4 訪問の目的	24
(5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ	24
(6) 問6 観光地訪問の認知、回数	25
(7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)	25
(8) 問8 観光地への交通機関	26
(9) 問9 今回の旅行費用について	27

# 第1部 「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく統計

## 1. 調査概要

### (1) 調査対象期間

平成26年1月1日～平成26年3月31日（第4四半期）

### (2) 共通基準について

観光立国の実現に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として制定された観光立国推進基本法（平成18年法律第117号）において、国は観光に関する統計の整備に必要な施策を講ずることとされている。

また、観光立国推進基本計画（平成19年6月29日閣議決定）において、「日帰り旅行者に関する統計等その他の観光旅行者に関する統計について、都道府県が行っている統計調査を踏まえつつ、地方公共団体が採用可能な共通基準を策定し、平成22年に共通基準での調査の実施を目指す」とされた。

共通基準は、都道府県における観光入込客に関する統計＝「観光入込客統計」について、把握する項目の定義、調査手法、推計方法等に関する基準を共通化し、都道府県が相互に比較可能な信頼性の高い統計を作成する目的で定めたものである。

### (3) 調査方法

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、都道府県ごとの観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

#### ①観光地点等入込客数調査（全数調査）

都道府県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査するもの。

#### ②観光地点パラメータ調査（サンプル調査）

都道府県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査するもの。

#### ③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

#### (4) 調査体系

本調査の実施単位は岩手県であるが、調査内容が多岐に渡ることから、岩手県及び県内の市町村が相互に連携・協力して実施しているものである。

市町村は選定した観光地点の管理者や行祭事・イベントの運営者に観光入込客数を確認し、岩手県は市町村からの報告結果をとりまとめるとともに、10 地点以上の観光地を選定し、観光地点パラメータ調査を実施した。

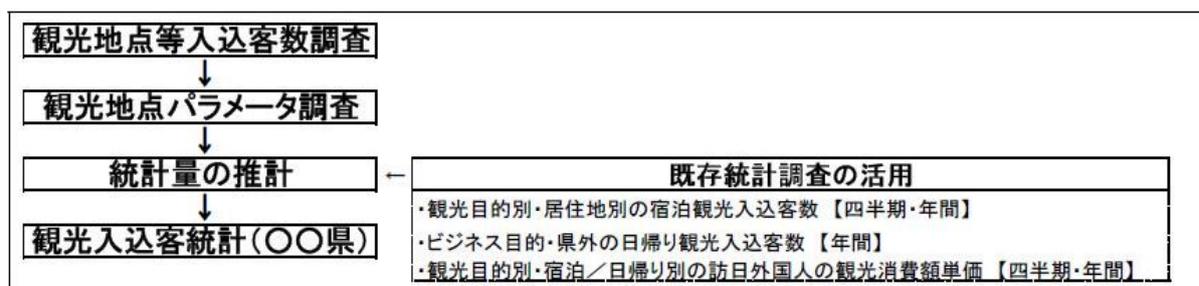


図 1 観光入込客統計の調査体系

#### (5) 集計対象（範囲）

観光入込客統計で統計量を推計する対象となる観光地点は、以下の3つの要件を満たす観光地点となる。ただし、行祭事・イベントについては、②及び③の要件を満たすものを集計の対象として取り扱うものとする。

- ①非日常利用が多い（月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満）と判断される地点であること。ただし、「訪問する頻度が高い者＝日常利用者である」とは言い切れない地点については、本要件を満たすものとして取り扱っても差し支えない。
- ②観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③観光入込客数が年間1万人以上、若しくは特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

なお、上記の確認は、毎年1月1日現在で行うこととなっている。調査年の途中で、観光入込客数が上記の要件を満たすこととなった観光地点が新設された場合は、要件を満たすことになる四半期から名簿に追加することとする。

また、1度限りの大規模な行祭事・イベント等、前年の入込客数が把握できないものの、調査年の途中で観光入込客数が上記要件を満たすこととなった場合も、同様に名簿に追加することができる。

## (6) 用語の定義

本報告に使われる用語の定義を以下に記す。

観光	余暇、ビジネス、その他の目的のため、日常生活圏を離れ、継続して1年を超えない期間の旅行をし、また滞在する人々の諸活動
ビジネス目的兼観光	旅行の主目的がビジネスである者が、観光地点を訪れることを意味する。
観光地点	観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設又はツーリズム等の観光活動の拠点となる地点を意味し、日常的な利用、通過型の利用がほとんどを占めると考えられる地点は対象としない。
行祭事・イベント	行祭事とは、地域住民の生活において伝統と慣行により継承されてきた、恒例として日を定め執り行う歴史的催し・祭り、郷土芸能等の集合を意味し、イベントとは、常設又は特設の会場施設において行われる博覧会、見本市、コンベンション等を意味する。
観光入込客	日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない。観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客とする。
訪日外国人客	観光入込客のうち、日本以外の国に居住し、観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者
観光地点等入込客数	観光地点及び行祭事・イベントごとの観光入込客の総数
観光入込客数	都道府県の観光地点を訪れた観光入込客をカウントした値で、例えば、1人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点を訪れたとしても1人・回と数える。
訪問地点数	観光入込客1人の1回の旅行において、当該都道府県内で訪問した観光地点の数
観光消費額単価	観光入込客1人の1回の旅行における当該都道府県内での観光消費額
観光消費額	当該都道府県を訪れた観光入込客の消費の総額。観光入込客数と観光消費額単価を掛け合わせることで算出される。

## (7) その他

### ①延べ人数と実人数について

観光入込客数の実人数とは1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合でも「1」と数えるもので、延べ人数の場合は1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地を訪問した場合にその観光地の数だけ数える（例えば5箇所を訪問した場合は「5」と数える）ものである。

### ②調査エリアについて

調査対象となる岩手県内の4つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）は以下のとおり。



図2 調査エリア

## 2. 調査結果

### (1) 調査対象地点数

調査の対象となる地点数は表 1 に示すとおり、観光地点総数が 260、行祭事・イベントが 110 である。

表 1 調査対象地点数

総数	観光地点						行祭事 ・イベント
	自然	歴史 ・文化	温泉 ・健康	スポーツ・ レクリエー ション	都市型 観光	その他	
260	33	57	74	54	21	21	110

### (2) 観光地点等入込客数（延べ人数）

#### ① 総数

平成 26 年 1 月～3 月の入込客数（延べ人数）は、岩手県全体で 5,038,755 人回となり、前年度比で 102.0%、東日本大震災津波発災前の平成 22 年度比では 133.0%となった。

#### ② 地域別入込客数

岩手県内の 4 つの地域（県央エリア、県南エリア、沿岸エリア、県北エリア）の状況は、表 2 及び図 3 に示すとおりである。

入込客数では県央エリアが 2,341,271 人回と最も多く、沿岸エリアが 462,734 人回と最も少ない。前年度比では、沿岸エリア 100.6%、県北エリア 111.0%と増加しており、NHK 連続テレビ小説「あまちゃん」放送の効果が継続し、久慈市をはじめとした県北・沿岸エリアへの誘客が図られているとみられる。また、県央エリアでは前年度比 98.8%とわずかに減少しているものの、県南エリアでは 104.3%と前年度比を上回っている。

表 2 地域別入込客数（延べ人数）

単位：人回

地域区分	1 月	2 月	3 月	平成 25 年度	平成 24	平成 24 年度	平成 23	平成 23 年度	平成 22	平成 22 年度
				1-3 期合計	年度比	1-3 期合計	年度比	1-3 期合計	年度比	1-3 期合計
県央エリア	853,441	961,005	526,825	2,341,271	98.8%	2,369,962	104.5%	2,239,819	132.9%	1,762,010
県南エリア	760,581	418,419	523,884	1,702,884	104.3%	1,632,604	92.6%	1,839,289	120.7%	1,410,647
沿岸エリア	165,501	124,526	172,707	462,734	100.6%	460,029	124.3%	372,158	233.0%	198,578
県北エリア	198,464	138,137	195,265	531,866	111.0%	479,042	112.1%	474,312	127.6%	416,788
総計	1,977,987	1,642,087	1,418,681	5,038,755	102.0%	4,941,637	102.3%	4,925,578	133.0%	3,788,023

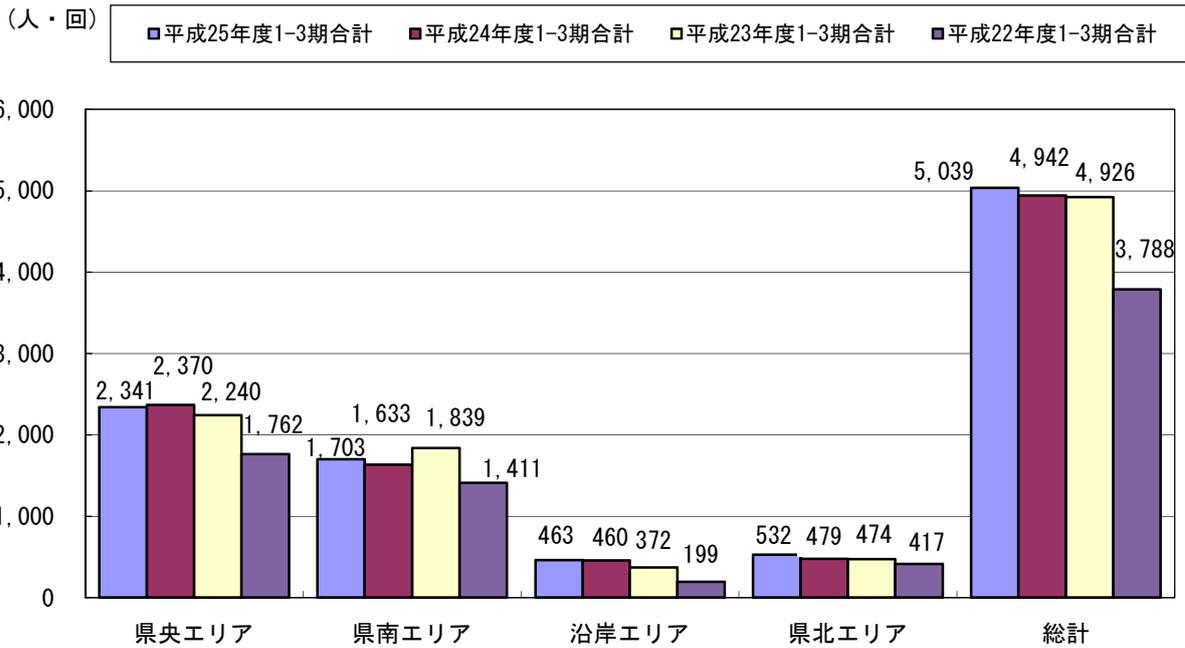


図3 地域別入込客数（延べ人数から算出）

③ 月別入込客数

岩手県全体での月別の入込客数（延べ人数）は表3及び図4に示すとおりである。

1月が1,977,987人回と最も多く、年度末に向けて減少している。平成24年度比では、1月は105.5%、2月は94.3%、3月は107.0%となっている。平成23年度、平成22年度比では、各月100%を超えており、震災後からは改善傾向にある。

表3 月別入込客数（延べ人数）

単位：人回

月	平成25年度	平成24年度比	平成24年度	平成23年度比	平成23年度	平成22年度比	平成22年度
1月	1,977,987	105.5%	1,874,528	100.0%	1,977,116	128.4%	1,540,385
2月	1,642,087	94.3%	1,741,544	101.6%	1,615,969	101.2%	1,621,832
3月	1,418,681	107.0%	1,325,565	106.5%	1,332,493	226.7%	625,806

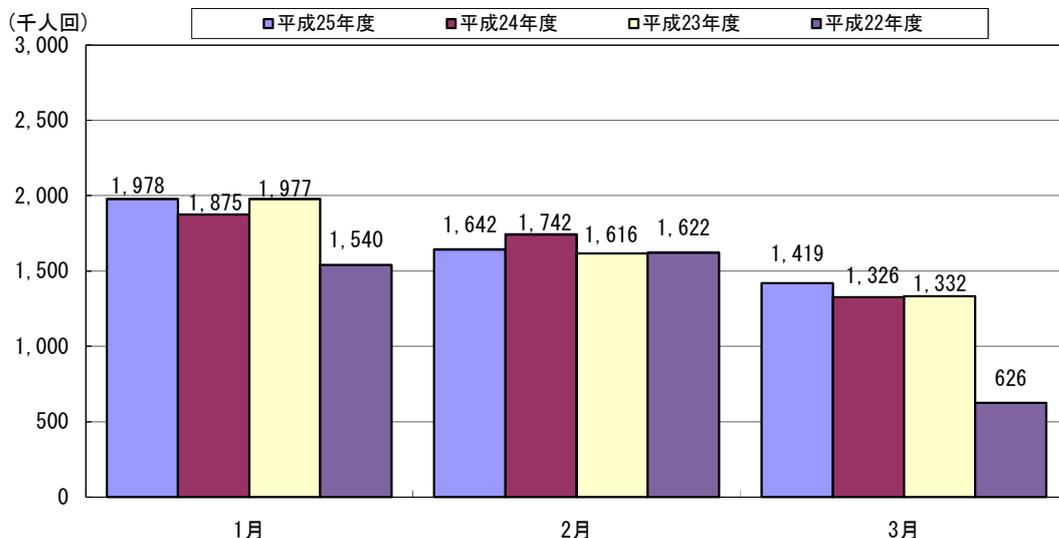


図4 月別入込客数（延べ人数から算出）

#### ④ 市町村別・月別入込客数

岩手県内の市町村毎の月別入込客数（延べ人数）は表4並びに図5-1、5-2、6-1、6-2、7-1及び7-2に示すとおりである。

最も入込客数が多かったのは雫石町の729,580人回で、次いで八幡平市の711,830人回、盛岡市の588,563人回となった。また、前年度比では、野田村の147.5%、普代村128.1%宮古市126.6%など、沿岸の市町村の入込客数の増加が目立っており、NHK連続テレビ小説「あまちゃん」放送の効果が継続していると思われる。

県南エリアの入込客数の多い平泉町が前年度比で91.6%まで減少しているが、世界遺産登録の平成22年度の水準は上回っている。

表4 市町村別・月別入込客数（延べ人数）

市町村	1月	2月	3月	1-3期合計	平成24年度 比	平成24年度 1-3期合計	平成23年度 比	平成23年度 1-3期合計	平成22年度 比	平成22年度 1-3期合計
盛岡市	312,064	154,240	122,259	588,563	98.6%	597,080	98.7%	596,600	233.1%	252,524
宮古市	35,974	36,830	43,661	116,465	126.6%	92,021	144.8%	80,419	199.1%	58,486
大船渡市	44,889	40,948	57,848	143,685	101.2%	141,984	161.6%	88,894	866.7%	16,578
花巻市	116,011	110,524	126,633	353,168	113.7%	310,645	105.1%	336,052	149.5%	236,212
北上市	44,237	38,275	34,881	117,393	-	0	-	0	-	0
久慈市	39,494	25,055	38,753	103,302	119.3%	86,557	132.9%	77,717	165.4%	62,437
遠野市	56,469	61,720	125,482	243,671	93.5%	260,731	81.0%	300,881	92.9%	262,380
一関市	74,024	94,900	101,362	270,286	92.8%	291,274	92.2%	293,148	111.0%	243,477
陸前高田市	11,414	9,673	15,574	36,661	91.8%	39,947	327.7%	11,189	-	0
釜石市	36,772	10,638	13,575	60,985	82.0%	74,336	82.7%	73,781	92.5%	65,939
二戸市	31,529	19,196	23,634	74,359	90.3%	82,339	93.1%	79,907	97.4%	76,317
八幡平市	272,377	236,946	202,507	711,830	112.4%	633,041	121.3%	586,593	137.6%	517,435
奥州市	209,082	51,203	39,897	300,182	93.7%	320,395	86.4%	347,589	95.4%	314,574
滝沢市	8,759	33,146	10,690	52,595	93.6%	56,164	247.0%	21,293	306.5%	17,160
雫石町	141,358	471,349	116,873	729,580	89.5%	814,720	97.1%	751,535	100.5%	725,976
葛巻町	12,055	10,123	14,344	36,522	93.4%	39,104	105.6%	34,594	114.3%	31,955
岩手町	9,622	9,106	11,526	30,254	98.0%	30,866	108.2%	27,951	132.0%	22,922
紫波町	80,483	31,558	33,123	145,164	103.6%	140,187	99.5%	145,902	109.9%	132,138
矢巾町	16,723	14,537	15,503	46,763	79.5%	58,800	62.1%	75,351	75.5%	61,900
西和賀町	28,848	27,912	30,805	87,565	99.3%	88,178	89.5%	97,851	109.8%	79,733
金ヶ崎町	21,929	18,314	24,740	64,983	90.9%	71,457	92.2%	70,459	100.0%	65,002
平泉町	209,981	15,571	40,084	265,636	91.6%	289,924	67.5%	393,309	126.9%	209,269
住田町	3,499	3,068	4,874	11,441	87.7%	13,040	74.5%	15,367	86.8%	13,186
大槌町	-	-	-	0	-	0	-	0	-	0
山田町	13,392	11,593	15,580	40,565	84.8%	47,818	70.6%	57,423	1105.9%	3,668
岩泉町	13,311	9,676	16,745	39,732	102.7%	38,693	106.4%	37,335	142.6%	27,871
田野畑村	6,250	2,100	4,850	13,200	108.3%	12,190	170.3%	7,750	102.7%	12,850
普代村	7,220	6,096	4,283	17,599	128.1%	13,742	101.5%	17,347	323.2%	5,446
軽米町	644	556	843	2,043	80.8%	2,530	80.7%	2,532	43.7%	4,675
野田村	21,795	18,078	25,083	64,956	147.5%	44,030	142.8%	45,475	149.8%	43,352
九戸村	11,898	8,683	5,300	25,881	116.3%	22,263	218.0%	11,872	247.9%	10,442
洋野町	48,370	32,649	47,387	128,406	94.8%	135,445	98.8%	129,958	115.0%	111,649
一戸町	37,514	27,824	49,982	115,320	125.2%	92,136	105.3%	109,504	112.5%	102,470
総計	1,977,987	1,642,087	1,418,681	5,038,755	102.0%	4,941,637	102.3%	4,925,578	133.0%	3,788,023

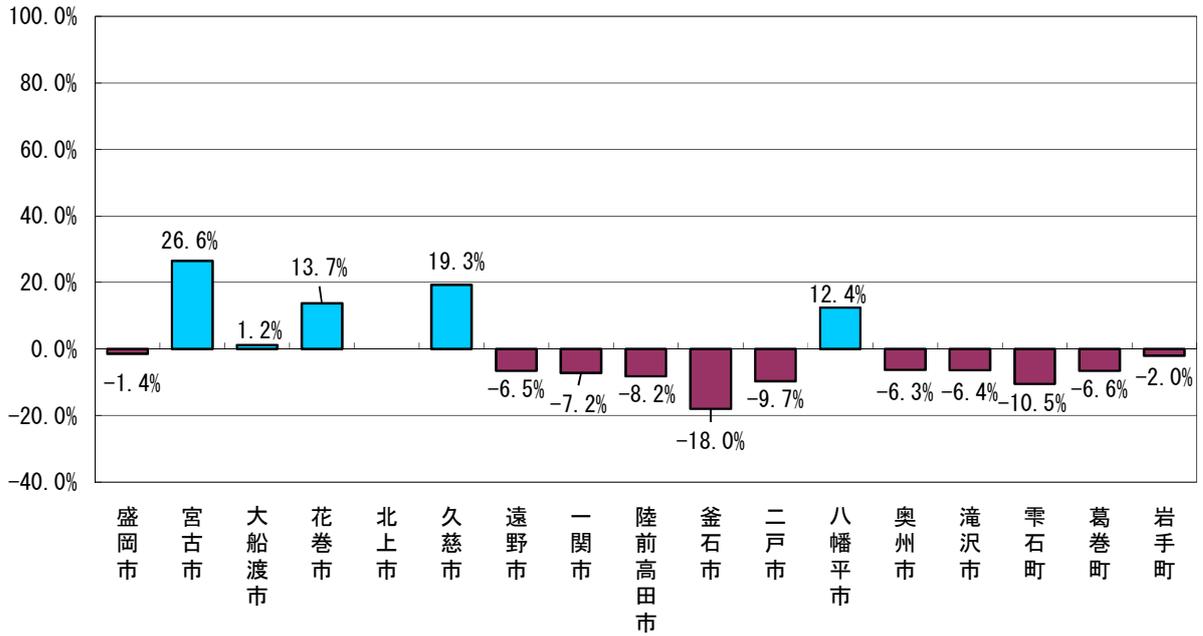


図5-1 市町村別・月別入込客数 平成24年度増減比(1)

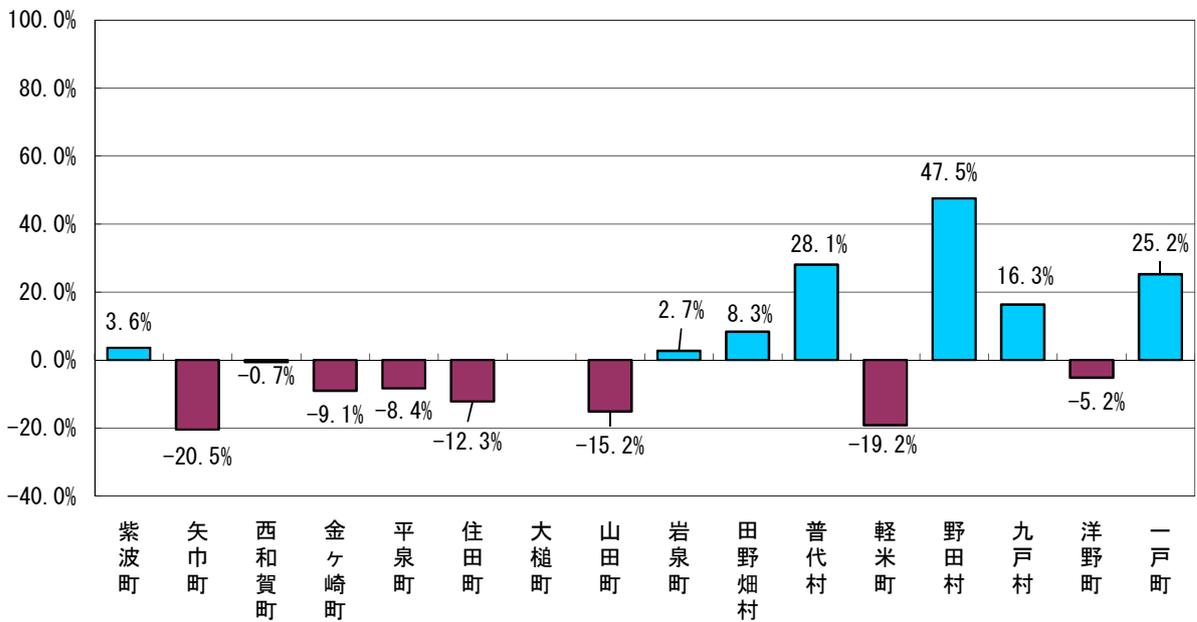


図5-2 市町村別・月別入込客数 平成24年度増減比(2)

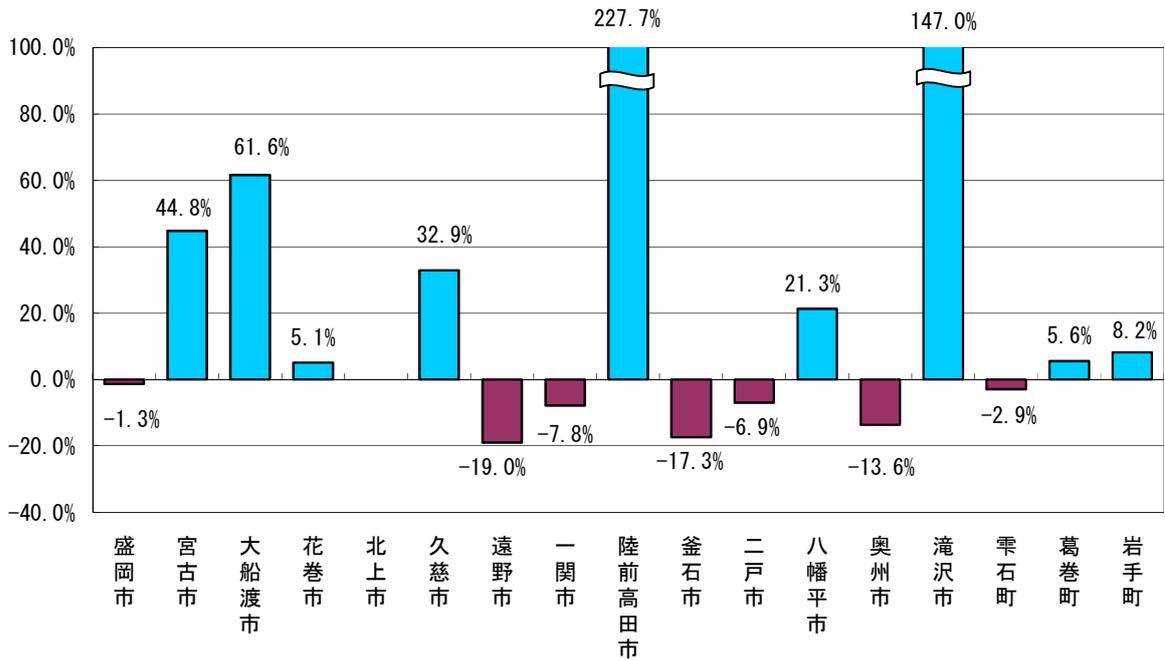


図6-1 市町村別・月別入込客数 平成23年度増減比(1)

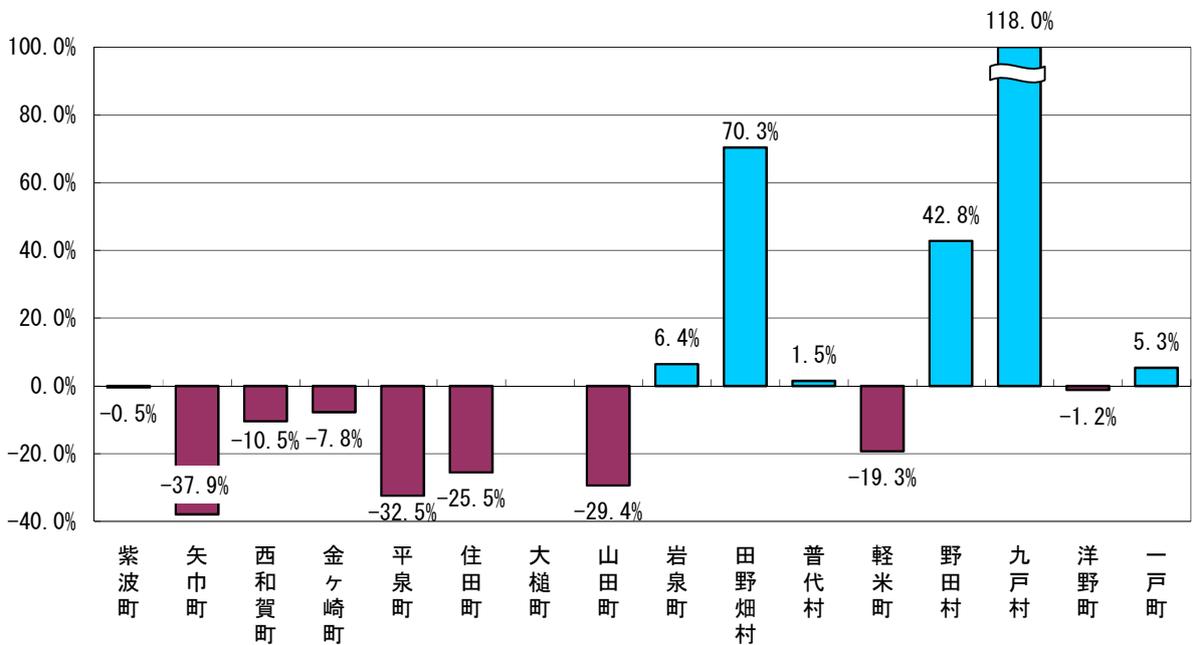


図6-2 市町村別・月別入込客数 平成23年度増減比(2)

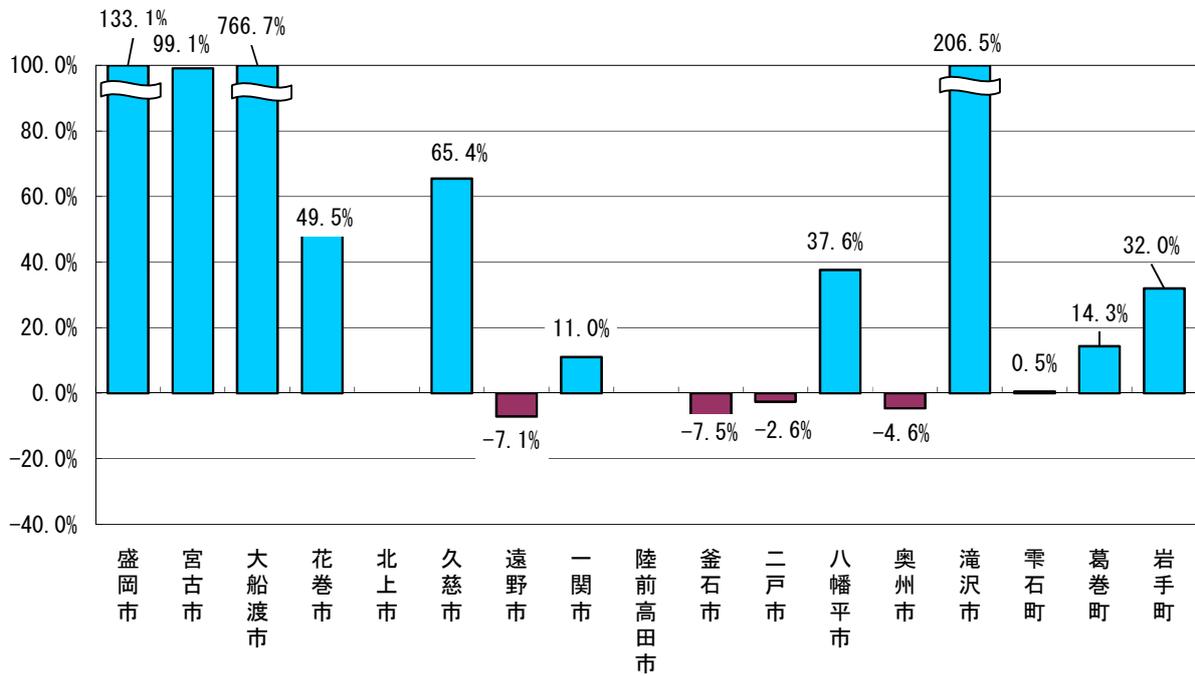


図7-1 市町村別・月別入込客数 平成22年度増減比(1)

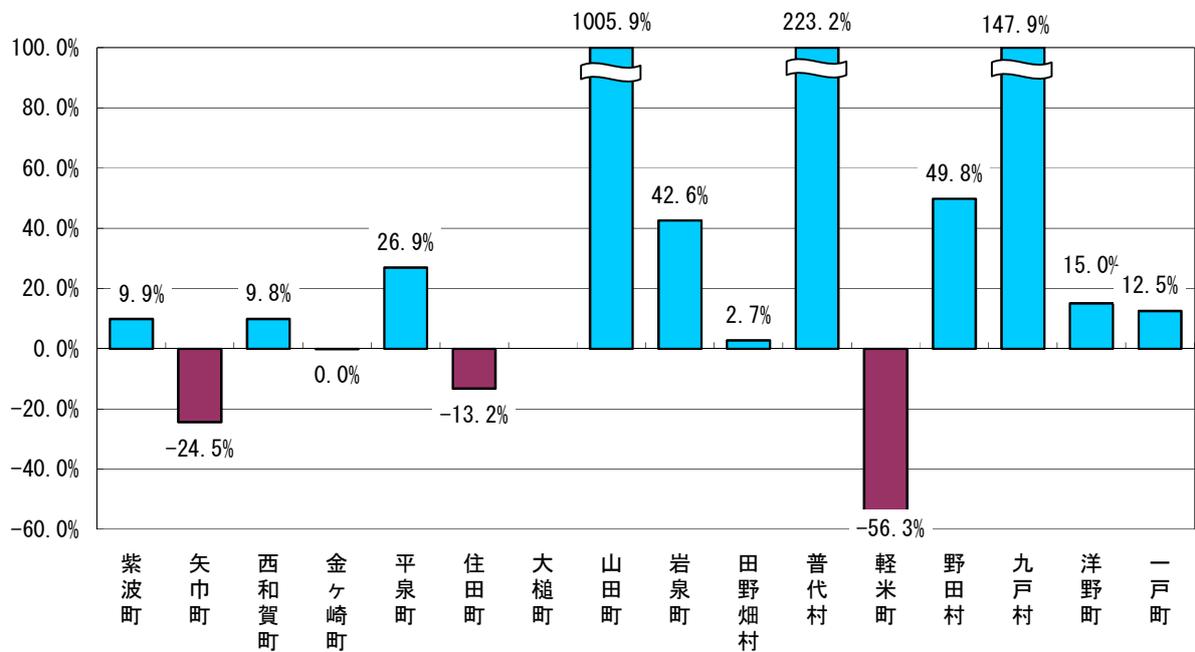


図7-2 市町村別・月別入込客数 平成22年度増減比(2)

### ⑤ 地域別・分類別入込客数

岩手県内の地域別・分類別の入込客数及び割合（延べ人数から算出）は表 5 及び図 8 に示すとおりである。

岩手県全体で見ると「温泉・健康」が 1,286,929 人回と最も多く、県南エリアで最も多い入込割合を占めている。次いで「スポーツ・レクリエーション」の 878,261 人回である。その他、沿岸エリアでは「その他」の道の駅等での入込客が主となっており、県北エリアでは「都市型観光(買物・食)」の入込割合が多くなっている。

表 5 地域別・分類別入込客数

単位：人回

地域区分	自然	歴史・文化	温泉・健康	スポーツ・レクリエーション	都市型観光(買物・食)	その他	行祭事・イベント
県央エリア	235,486	179,330	568,786	685,185	26,785	123,467	522,232
県南エリア	181,631	340,337	534,007	119,966	254,852	18,236	253,855
沿岸エリア	55,471	38,134	83,920	6,214	77,765	189,230	12,000
県北エリア	49,446	17,181	100,216	66,896	128,826	84,437	84,864
総計	522,034	574,982	1,286,929	878,261	488,228	415,370	872,951

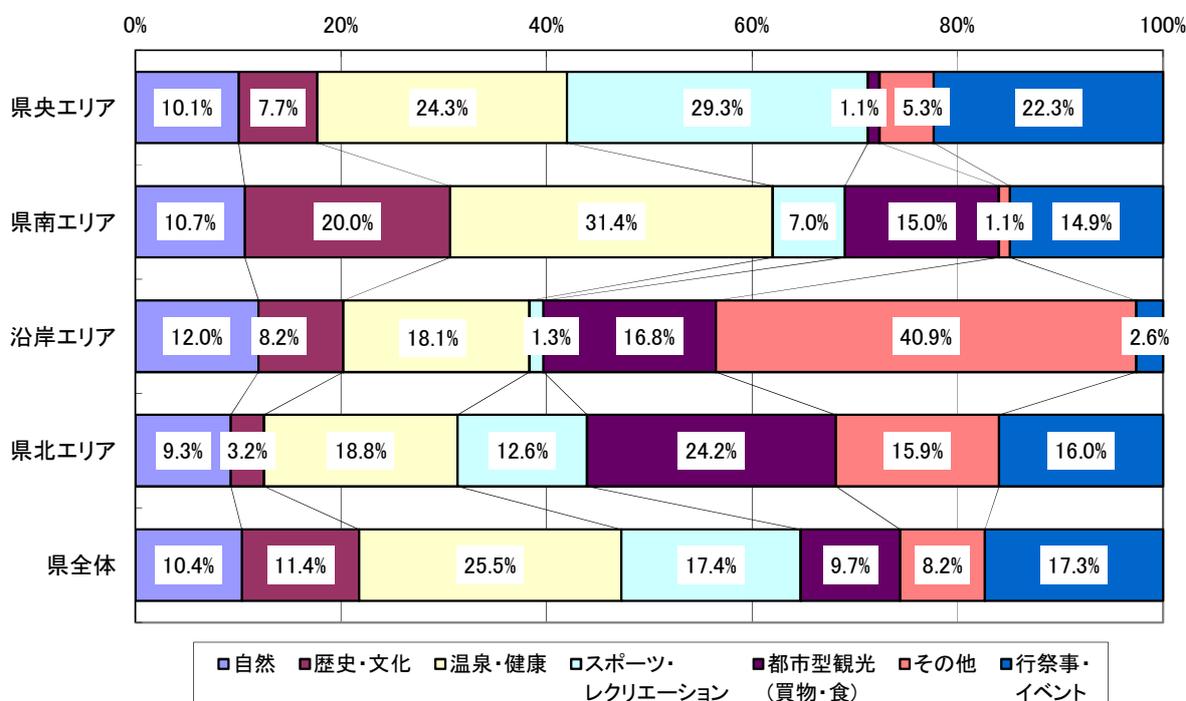


図 8 地域別・分野別入込割合 (延べ人数から算出)

### (3) 観光入込客数（実人数）

観光入込客数（実人数）は表 6、表 7 及び図 9 に示すとおりである。

なお、この入込客数は実人数であり、観光地点等ごとの重複を除いた数値である。1 人の観光入込客が当該都道府県内の複数の観光地点等を訪れたとしても 1 人・回と数える。

本県を訪れた観光目的の入込客数は、平成 24 年度比 83.9%、平成 23 年度比 91.3%、平成 22 年度比 71.8%であった。宿泊及び日帰り別では、宿泊客は、平成 24 年度比 106.0%、平成 23 年度比 93.5%、平成 22 年度比 83.9%であり、震災前の水準を下回っているものの、平成 24 年度より回復している。

また、日帰り県内客は過年度を下回っているが、県外客は回復傾向にある。

なお、ビジネス兼観光目的の入込客数は、平成 24 年度比 117.1%、平成 23 年度比 131.9%、平成 22 年度比 238.0%となった。特に、県外客の人数が大幅に増加している。

表 6-1 日帰り宿泊別・県内県外別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			1-3 期 合計
	宿泊計	県外	県内	日帰り計	県外	県内	
観光目的入込客数	622	325	297	1,349	305	1,044	1,971
平成 24 年度比	106.0%	114.4%	98.0%	76.6%	105.9%	70.8%	83.9%
平成 24 年度 1-3 期合計	587	284	303	1,762	288	1,474	2,349
平成 23 年度比	93.5%	79.5%	116.0%	90.3%	140.6%	81.8%	91.3%
平成 23 年度 1-3 期合計	665	409	256	1,494	217	1,277	2,159
平成 22 年度比	83.9%	101.2%	70.7%	67.3%	71.8%	66.1%	71.8%
平成 22 年度 1-3 期合計	741	321	420	2,005	425	1,580	2,746
ビジネス兼観光目的入込客数	450	290	160	257	231	26	707
平成 24 年度比	120.6%	130.6%	106.0%	111.3%	120.3%	66.7%	117.1%
平成 24 年度 1-3 期合計	373	222	151	231	192	39	604
平成 23 年度比	93.9%	90.9%	100.0%	450.9%	3,850.0%	51.0%	131.9%
平成 23 年度 1-3 期合計	479	319	160	57	6	51	536
平成 22 年度比	169.8%	189.5%	142.9%	803.1%	-	81.3%	238.0%
平成 22 年度 1-3 期合計	265	153	112	32	0	32	297

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

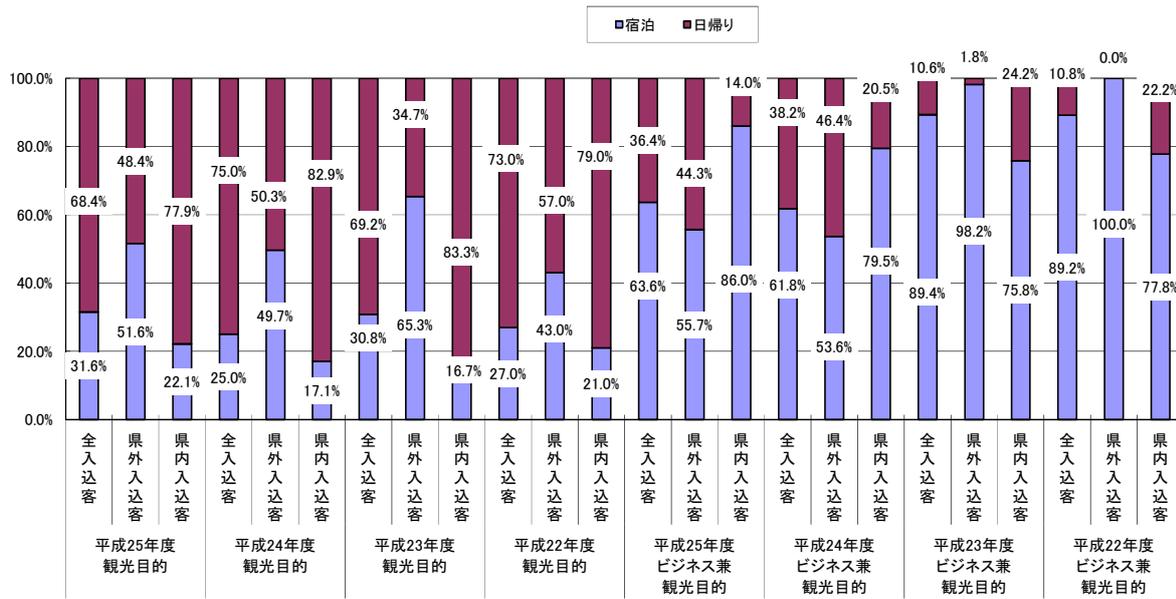


図9-1 年度別・目的別の宿泊・日帰り割合

表6-2 県内県外別・日帰り宿泊別入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	県外			県内			1-3期 合計
	県外計	宿泊	日帰り	県内計	宿泊	日帰り	
観光目的入込客数	630	325	305	1,341	297	1,044	1,971
平成24年度比	110.1%	114.4%	105.9%	75.5%	98.0%	70.8%	83.9%
平成24年度1-3期合計	572	284	288	1,777	303	1,474	2,349
平成23年度比	100.6%	79.5%	140.6%	87.5%	116.0%	81.8%	91.3%
平成23年度1-3期合計	626	409	217	1,533	256	1,277	2,159
平成22年度比	84.5%	101.2%	71.8%	67.1%	70.7%	66.1%	71.8%
平成22年度1-3期合計	746	321	425	2,000	420	1,580	2,746
ビジネス兼観光目的入込客数	521	290	231	186	160	26	707
平成24年度比	125.8%	130.6%	120.3%	97.9%	106.0%	66.7%	117.1%
平成24年度1-3期合計	414	222	192	190	151	39	604
平成23年度比	160.3%	90.9%	3,850.0%	88.2%	100.0%	51.0%	131.9%
平成23年度1-3期合計	325	319	6	211	160	51	536
平成22年度比	340.5%	189.5%	-	129.2%	142.9%	81.3%	238.0%
平成22年度1-3期合計	153	153	0	144	112	32	297

(注) 入込客数には訪日外国人を含まない。

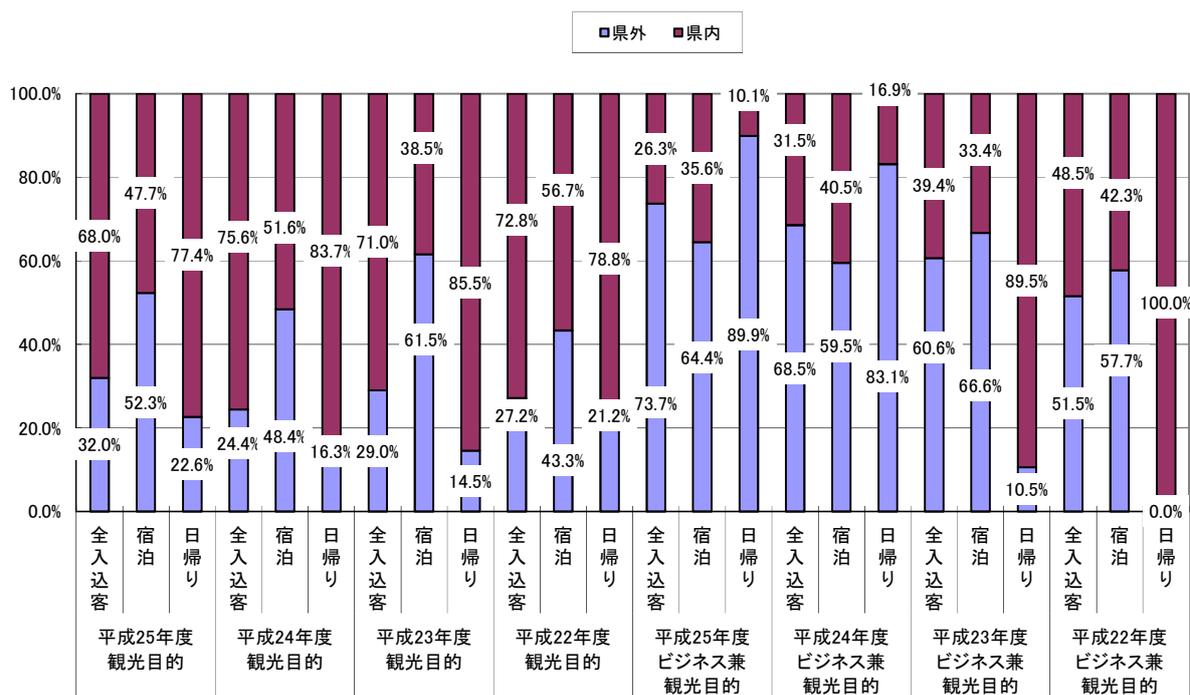


図9-2 年度別・県内・県外別の宿泊・日帰り割合

また、本県を訪れた訪日外国人宿泊客数は、平成24年度比100.0%、平成23年度比142.9%、平成22年度比83.3%であった。

表7 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人入込客数（実人数）

単位：千人・回

推計項目	宿泊			日帰り			1-3期合計
	宿泊計	観光	ビジネス	日帰り計	観光	ビジネス	
訪日外国人入込客数	10	8	2	-	-	-	10
平成24年度比	100.0%	114.3%	66.7%	-	-	-	100.0%
平成24年度1-3期合計	10	7	3	-	-	-	10
平成23年度比	142.9%	133.3%	200.0%	-	-	-	142.9%
平成23年度1-3期合計	7	6	1	-	-	-	7
平成22年度比	83.3%	80.0%	100.0%	-	-	-	83.3%
平成22年度1-3期合計	12	10	2	-	-	-	12

#### (4) 観光消費額

##### ① 観光消費額単価（日帰り宿泊別・県内県外別）

観光消費額単価は表 8、表 9 及び図 10 に示すとおりである。

なお、単位の「円／人・回」は、観光入込客 1 人の 1 回の旅行における観光消費額を指す。

観光目的の宿泊客の観光消費額単価は、県内客では、平成 24 年度比 133.9%、平成 23 年度比 123.4%、平成 22 年度比 111.8%、県外客では、平成 24 年度比 65.4%、平成 23 年度比 97.7%、平成 22 年度比 90.0%である。

なお、ビジネス兼観光目的の観光消費額単価は、サンプル数が少なく 1 回答者の金額の影響が大きいことから、時系列での比較が難しい状況となっている。

表 8 日帰り宿泊別・県内県外別・観光消費額単価

単位：円／人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	県外	県内	県外	県内
観光目的 観光消費額単価	21,331	14,906	6,182	4,542
平成 24 年度比	65.4%	133.9%	84.1%	161.4%
平成 24 年度 1-3 期観光消費額単価	32,619	11,133	7,351	2,814
平成 23 年度比	97.7%	123.4%	88.6%	165.3%
平成 23 年度 1-3 期観光消費額単価	21,827	12,077	6,974	2,748
平成 22 年度比	90.0%	111.8%	98.1%	118.3%
平成 22 年度 1-3 期観光消費額単価	23,697	13,331	6,302	3,839
ビジネス兼観光目的 観光消費額単価	26,066	9,200	5,156	4,127
平成 24 年度比	79.5%	47.9%	106.4%	143.0%
平成 24 年度 1-3 期観光消費額単価	32,805	19,196	4,846	2,886
平成 23 年度比	18.1%	129.6%	171.9%	235.7%
平成 23 年度 1-3 期観光消費額単価	144,347	7,100	3,000	1,751
平成 22 年度比	105.3%	-	-	138.6%
平成 22 年度 1-3 期観光消費額単価	24,762	-	-	2,977

(注) 観光消費額単価には訪日外国人を含まない。

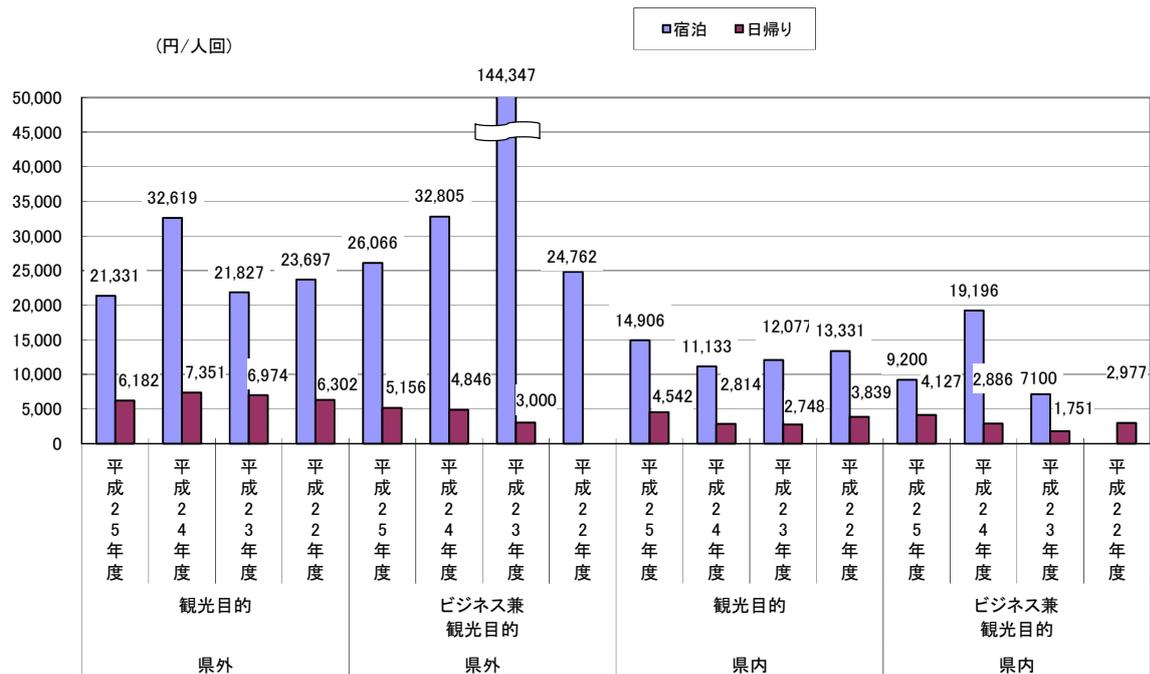


図 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額単価

日帰り宿泊別・観光ビジネス別訪日外国人観光消費額単価は表9に示すとおりである。  
 観光消費額単価は、パラメータ調査での値であることから、訪日外国人観光消費額単価のようなサンプル数が少ない数値については、1回答者の金額の影響が大きく、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表 9 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額単価

単位：円/人・回

推計項目	宿泊		日帰り	
	観光	ビジネス	観光	ビジネス
訪日外国人 観光消費額単価	62,701	75,944	14,330	10,526
平成 24 年度比	385.2%	103.2%	135.8%	121.3%
平成 24 年度 1-3 期 観光消費額単価	16,277	73,612	10,556	8,678
平成 23 年度比	243.0%	117.6%	170.9%	131.7%
平成 23 年度 1-3 期 観光消費額単価	25,800	64,595	8,387	7,990
平成 22 年度比	142.3%	61.8%	176.7%	129.8%
平成 22 年度 1-3 期 観光消費額単価	44,060	122,981	8,109	8,109

## ② 観光消費額（日帰り宿泊別・県内県外別）

日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額は表 10 及び図 11 に示すとおりである。

観光目的の観光消費額の総額は、平成 24 年度比 95.2%、平成 23 年度比 105.6%、平成 22 年度比 81.9%である。日帰り・宿泊別では、宿泊は平成 24 年度比 89.9%、平成 23 年度比 94.6%、平成 22 年度比 86.0%である。また、日帰りは平成 24 年度比 105.8%、平成 23 年度比 131.9%と増加傾向にある。

一方、ビジネス兼観光目的の観光消費額の総額は、平成 24 年度比 92.1%、平成 23 年度比 21.9%、平成 22 年度比 265.5%となっている。

表 10 日帰り宿泊別・県内県外別観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊 総数	県外	県内	日帰り 総数	県外	県内	
観光目的 観光消費額	11,371	6,942	4,429	6,625	1,883	4,742	17,996
平成 24 年度比	89.9%	74.9%	131.3%	105.8%	89.0%	114.3%	95.2%
平成 24 年度 1-3 期 観光消費額	12,645	9,273	3,372	6,263	2,115	4,148	18,908
平成 23 年度比	94.6%	77.8%	143.5%	131.9%	124.3%	135.2%	105.6%
平成 23 年度 1-3 期 観光消費額	12,014	8,927	3,087	5,023	1,515	3,508	17,037
平成 22 年度比	86.0%	91.2%	79.0%	75.7%	70.2%	78.2%	81.9%
平成 22 年度 1-3 期 観光消費額	13,215	7,612	5,603	8,746	2,681	6,065	21,961
ビジネス兼 観光目的観光消費額	9,042	7,566	1,476	1,299	1,192	107	10,341
平成 24 年度比	88.8%	103.9%	50.8%	124.2%	127.9%	93.9%	92.1%
平成 24 年度 1-3 期 観光消費額	10,188	7,281	2,907	1,046	932	114	11,234
平成 23 年度比	19.2%	16.4%	130.0%	1,225.5%	7,011.8%	120.2%	21.9%
平成 23 年度 1-3 期 観光消費額	47,172	46,037	1,135	106	17	89	47,278
平成 22 年度比	-	199.1%	-	-	-	112.6%	265.5%
平成 22 年度 1-3 期 観光消費額	-	3,800	-	-	-	95	3,895

(注) 観光消費額には訪日外国人を含まない。

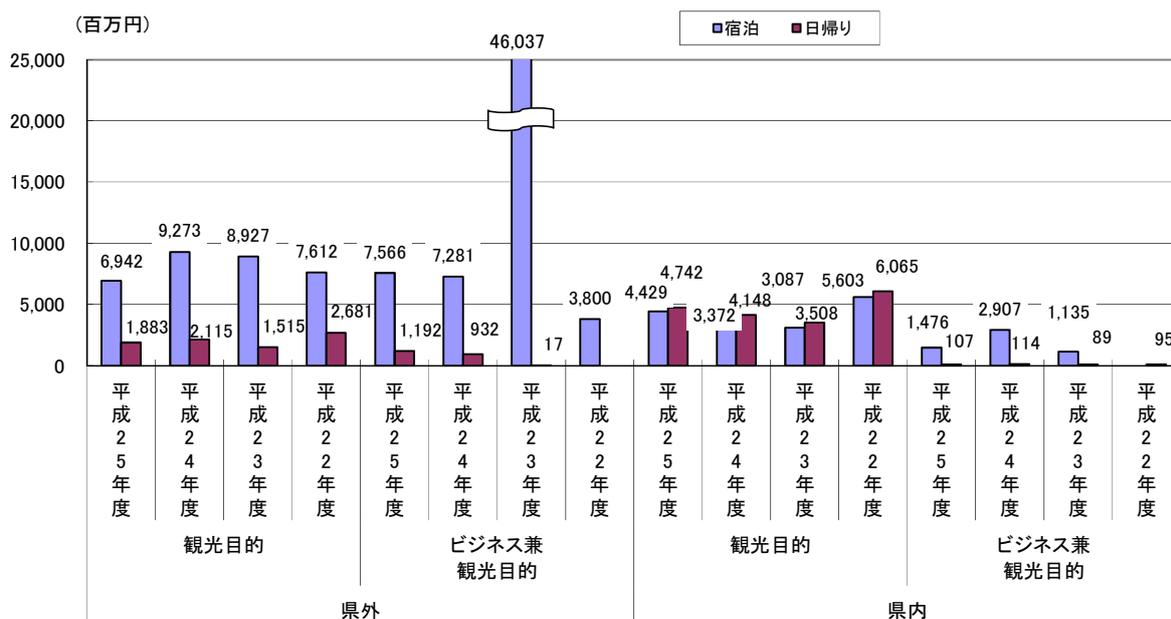


図 11 日帰り宿泊別・県内県外観光消費額

日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額は表 11 に示すとおりである。

訪日外国人の観光消費額の総額は、平成 24 年度比 205.9%、平成 23 年度比 299.5%、平成 22 年度比 95.8%である。また、宿泊総額では、平成 24 年度比 205.9%、平成 23 年度比 299.5%、平成 22 年度比 96.2%であり、震災直後の平成 23 年度からは改善傾向にある。

一方、この観光消費額は、表 9 で示した観光消費額単価に、表 7 に示した入込客数を掛け合わせた金額であることから、訪日外国人のようなサンプル数が少ない数値については、時系列での比較が難しいことを付け加える。

表 11 日帰り宿泊別・観光ビジネス別 訪日外国人観光消費額

単位：百万円

推計項目	宿泊			日帰り			総額
	宿泊総額	観光	ビジネス	日帰り総額	観光	ビジネス	
訪日外国人観光消費額	632	506	126	-	-	-	632
平成 24 年度比	205.9%	443.9%	65.3%	-	-	-	205.9%
平成 24 年度 1-3 期観光消費額	307	114	193	-	-	-	307
平成 23 年度比	299.5%	308.5%	268.1%	-	-	-	299.5%
平成 23 年度 1-3 期観光消費額	211	164	47	-	-	-	211
平成 22 年度比	96.2%	110.5%	63.3%	-	-	-	95.8%
平成 22 年度 1-3 期観光消費額	657	458	199	3	3	-	660

## 第2部 観光地点パラメータ調査結果から見る観光客の動向分析

### 1. 調査概要

今回実施した観光地点を対象としたアンケート調査の概要は以下のとおりである。

[調査実施時期] 平成26年2月～3月

[調査地点] 下記のとおり、岩手県内の観光地点10ヶ所を実施

[調査内容] 観光の目的、訪問（予定）観光地点、交通手段、滞在日数、旅行予算など観光に係る項目

[調査票回収件数] 869件

調査地点別の回収件数、旅行人数は以下のとおりである。

表 12 アンケート調査票件数、旅行人数（調査地点別）

調査地点	調査実施時期				
	市町村名	地域名	調査実施日	調査票回収件数	旅行人数 (本人含む)
小岩井農場	雫石町	県央地域	3/8	126	413
盛岡手づくり村	盛岡市	県央地域	3/8	79	291
道の駅にしね	八幡平市	県央地域	3/2	96	389
平泉（中尊寺）	平泉町	県南地域	3/9	74	407
道の駅遠野風の丘	遠野市	県南地域	3/1	88	396
宮沢賢治記念館	花巻市	県南地域	3/8	58	211
道の駅くじ「やませ土風館」	久慈市	県北地域	3/1, 3/2	79	408
なにやーと物産センター	二戸市	県北地域	2/22, 2/23	83	387
浄土ヶ浜	宮古市	沿岸地域	3/15, 3/16	95	411
碁石海岸	大船渡市	沿岸地域	2/22, 2/23	91	401
合計				869	3,714

今回実施したアンケート調査結果を集計した結果について、次頁以降において説明する。

## 2. 観光客の動向分析

### (1) 問1 住まいの地域

問1は、来訪者の住まいの地域に関する設問である。問1の結果を集計しグラフ化したものが、図11である。

この結果、アンケート調査回答者の3割弱（26.7%）は岩手県内からの来訪者であり、岩手県外からの来訪者は約7割（73.3%）である。海外からの来訪者は0人（0.0%）であった。

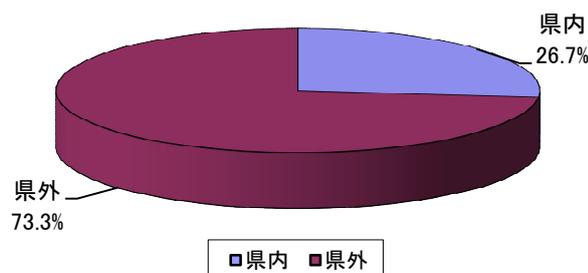


図11 地域別・分類別入込割合（延べ人数から算出）

岩手県外からの来訪者について都道府県別に旅行人数を集計し、グラフ化したものが図12である。

県外客で最も人数が多いのは宮城県（21.2%）、次いで青森県（21.0%）、東京都（12.6%）、秋田県（11.0%）であり、これらの4都県で6割以上（65.8%）を占めている。

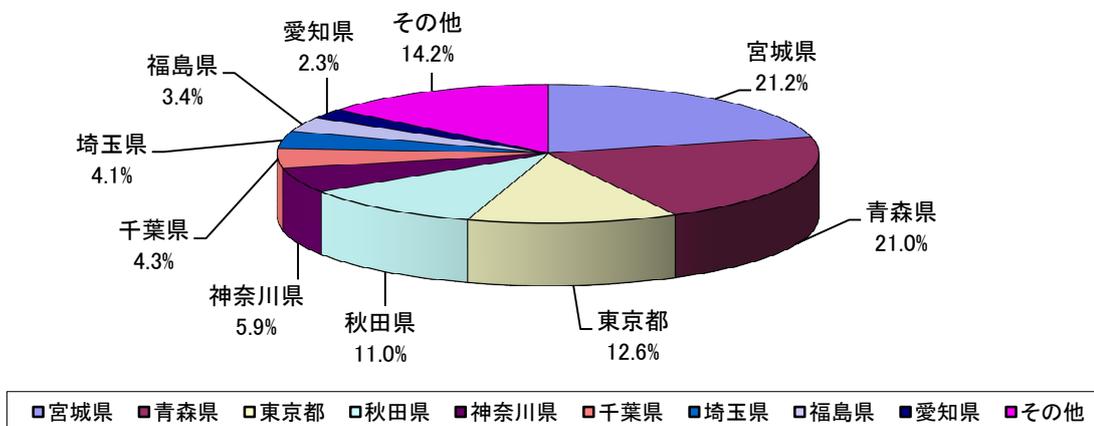


図12 県外客の住まいの地域（岩手県及び来訪者0人の都道府県を除く）

表13 各県当たり観光客数および比率（岩手県及び来訪者0人の県を除く）

宮城県	青森県	東京都	秋田県	神奈川県	千葉県	埼玉県	福島県	愛知県
93人	92人	55人	48人	26人	19人	18人	15人	10人
21.2%	21.0%	12.6%	11.0%	5.9%	4.3%	4.1%	3.4%	2.3%
北海道	兵庫県	山形県	茨城県	大阪府	岡山県	京都府	栃木県	群馬県
8人	7人	6人	6人	5人	5人	4人	3人	3人
1.8%	1.6%	1.4%	1.4%	1.1%	1.1%	0.9%	0.7%	0.7%
新潟県	静岡県	三重県	山口県	石川県	岐阜県	滋賀県	徳島県	鹿児島県
3人	3人	2人	2人	1人	1人	1人	1人	1人
0.7%	0.7%	0.5%	0.5%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%

## (2) 問2 性別・年代

問2は、来訪者の性別、年代に関する設問である。

性別を集計しグラフ化したのが図13である。この図より、性別の構成をみると男性が多い(56.4%)状況であった。

また、年代構成を集計しグラフ化したのが図14である。この図より、岩手県外来訪者は「60歳代」が最も多いことがわかる(岩手県外：20.1%)。また、岩手県内、岩手県外来訪者のいずれも、40歳代以上が全来訪者の半数以上となった。(岩手県内：62.9%、岩手県外：60.5%)

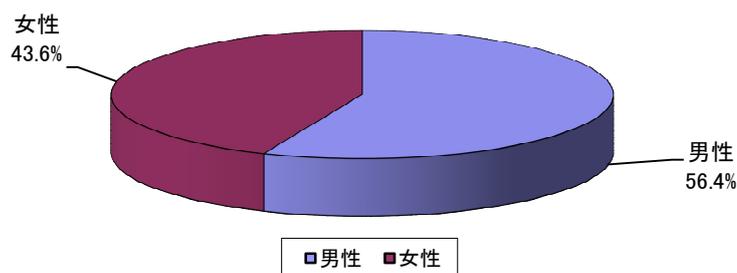
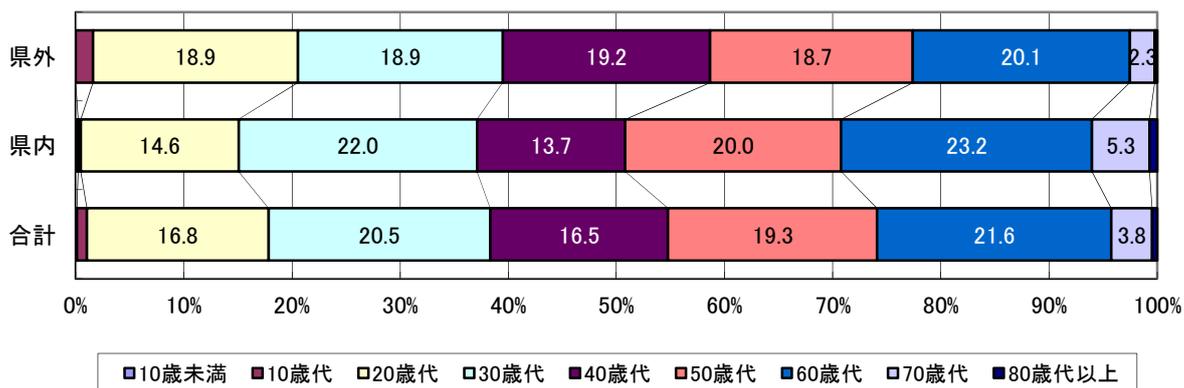


図13 来訪者の性別



	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
合計	0.1%	0.9%	16.8%	20.5%	16.5%	19.3%	21.6%	3.8%	0.5%
岩手県内	0.2%	0.2%	14.6%	22.0%	13.7%	20.0%	23.2%	5.3%	0.7%
岩手県外	0.0%	1.6%	18.9%	18.9%	19.2%	18.7%	20.1%	2.3%	0.2%

図14 岩手県内／外来訪者の年代構成(比率)

### (3) 問3 宿泊形態および宿泊数

問3は、旅行の日帰り・宿泊の区分、および県内の宿泊に関する設問である。本設問の回答結果を日帰り、宿泊の区分別に集計しグラフ化したのが図15である。

来訪者の宿泊形態は日帰り（57.3%）と宿泊（42.7%）であった。

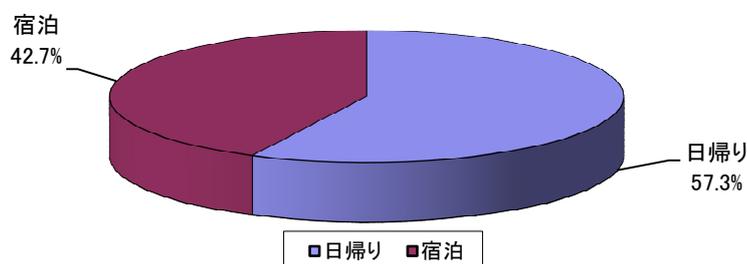


図15 来訪者の宿泊形態

来訪者の全日程及び岩手県内における宿泊日数を集計しグラフ化したのが図16、17である。

宿泊客全体（県外宿泊も含む）の宿泊日数は「1日」が最も多く、全体の6割以上（67.1%）を占めている。なお、岩手県内宿泊数では、宿泊日数「1日」の割合が7割以上であった。（73.6%）

※宿泊数平均 0.8(泊) 県内宿泊数平均 0.6(泊)

また、利用した岩手県内の宿泊施設の種類数を集計しグラフ化したのが図18である。

この図より、岩手県内の宿泊者のほぼ9割（95.7%）は、宿泊施設の種類数は「1種類」であった。

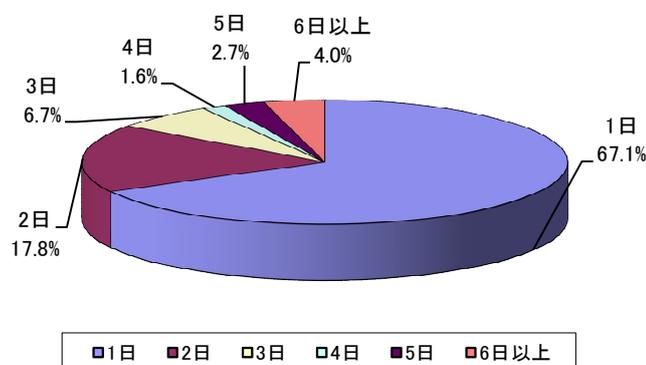


図16 宿泊数（全日程）

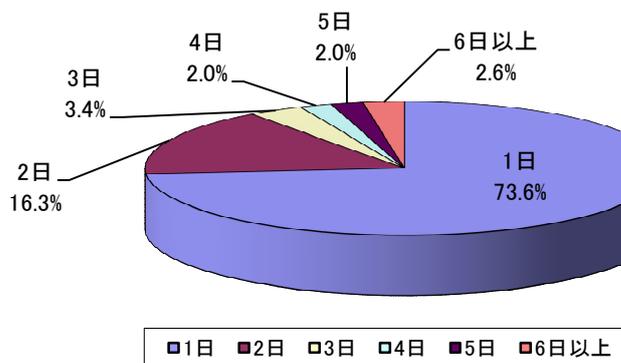


図17 岩手県内宿泊数

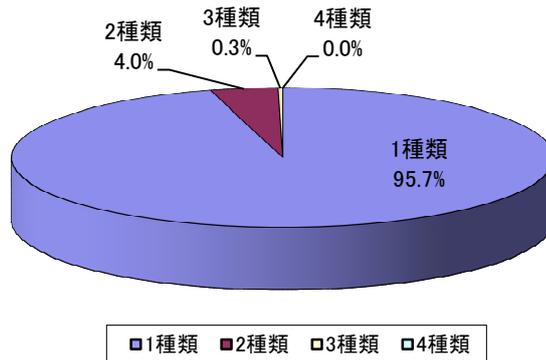


図 18 岩手県内宿泊施設数

利用した県内の宿泊施設の種類を集計しグラフ化したのが図 19 である。県内宿泊者が利用する宿泊施設の種類は「ホテル」(54.0%) が最も多く、次いで「旅館」(25.1%) である。次いで、「実家や知人・親戚宅」(17.9%) であり、これら以外の宿泊施設利用は全て 4%未満であった。

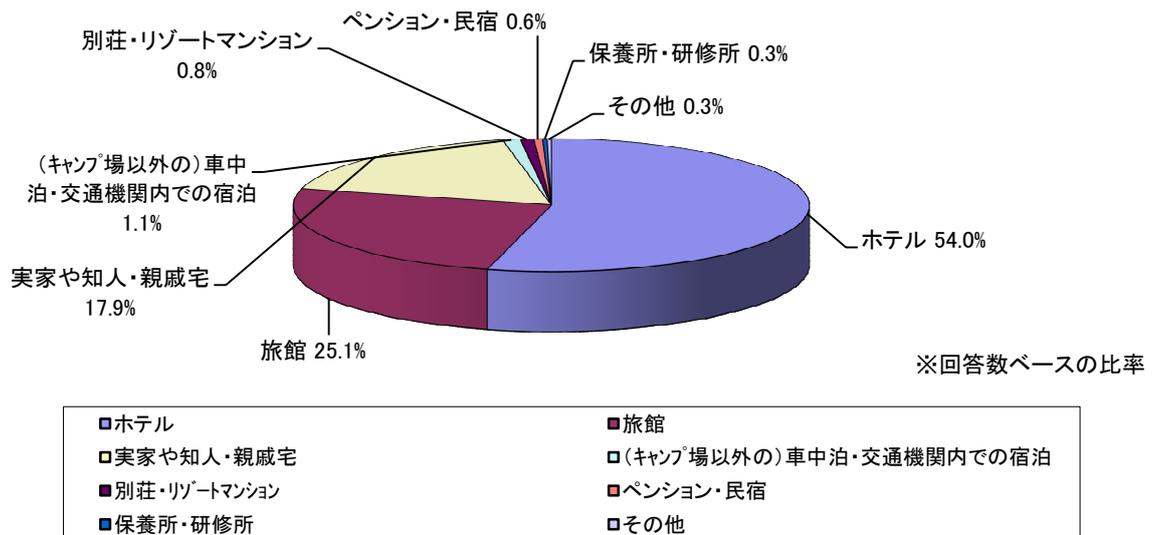


図 19 宿泊施設の種類

表 14 宿泊施設の内訳

ホテル	旅館	実家や知人・親戚宅	(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	別荘・リゾートマンション
54.0%	25.1%	17.9%	1.1%	0.8%
196人	91人	65人	4人	3人
ペンション・民宿	保養所・研修所	その他	キャンプ場	会員制の宿泊施設
0.6%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%
2人	1人	1人	0人	0人

#### (4) 問4 訪問の目的

問4は、訪問の目的に関する設問である。

本設問の結果を集計しグラフ化したのが図20である。訪問の目的は「観光」が4/5以上を占めており（82.6%）、次いで「帰省・知人訪問」（5.9%）、「その他」（7.6%）である。

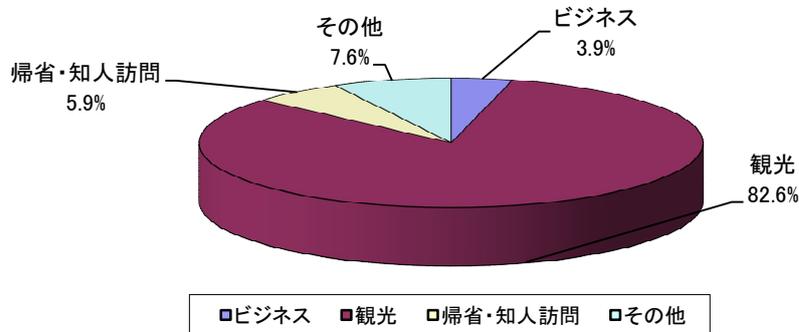


図20 訪問の目的

#### (5) 問5 旅行人数、同行者のタイプ

問5は、旅行人数および同行者のタイプに関する設問である。

「旅行人数」別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図21である。旅行人数が最も多かったのは「2人」（38.7%）であり、次いで「3人」（17.6%）、「4人」（15.2%）であった。

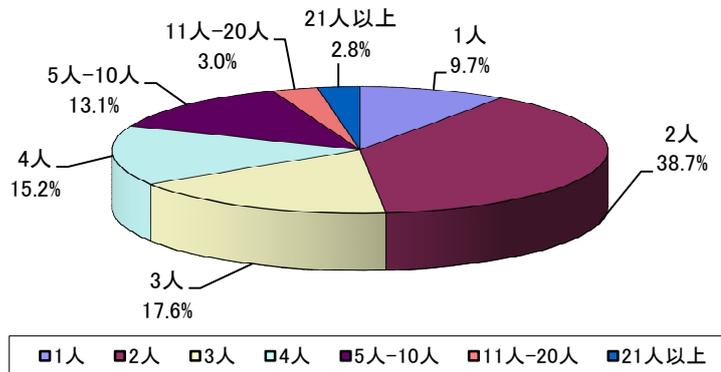


図21 旅行人数

同行者のタイプ別に集計しその回答比率をグラフ化したのが図22である。同行者のタイプとして最も多いのは「家族」（64.8%）で、回答者全体の6割を占めた。次いで「友人」（23.6%）、「職場・学校等の団体旅行」（7.5%）などである。

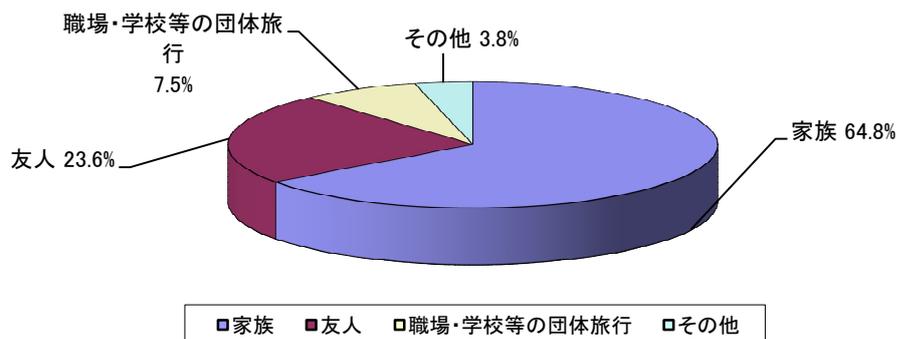


図22 同行者のタイプ

#### (6) 問6 観光地訪問の認知、回数

問6、7は、岩手県内観光地への訪問経験の認知及び、県外からの来訪者に対する岩手県訪問の認知及び回数に関する設問である。

調査地点とした観光地への訪問の認知度については、全来訪者のうち9割以上(93.7%)が「知っている」と回答した。

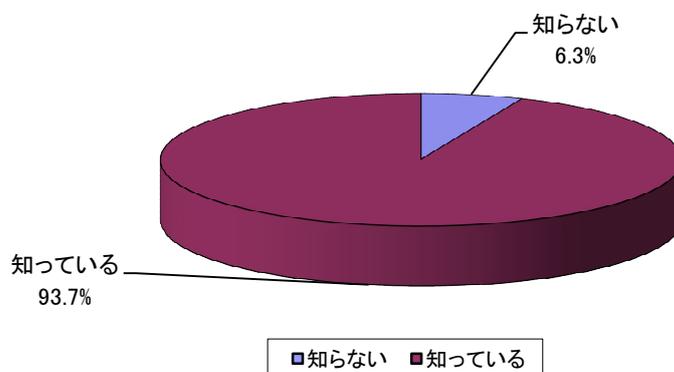


図23 観光地訪問の認知

#### (7) 問7 岩手県訪問の認知、回数(岩手県外の方のみ対象の設問)

問7は岩手県外からの来訪者を対象にした、岩手県への訪問の認知及び回数に関する設問である。

岩手県への訪問の認知を質問したところ、約9割強(90.7%)の来訪者が「知っている」と回答した。

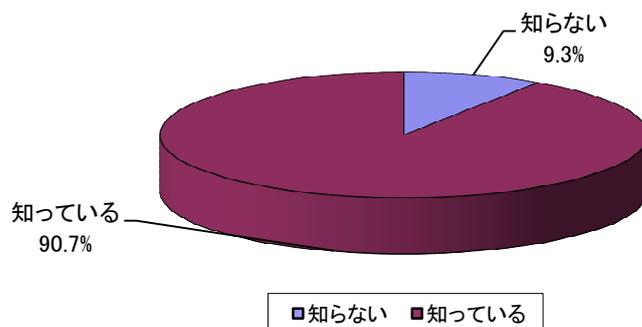


図24 岩手県訪問の認知(岩手県外来訪者)

### (8) 問8 観光地への交通機関

問8は、岩手県への来県や観光地への訪問で利用した交通機関、および訪問やその予定のある岩手県内観光地やその他立ち寄り都道府県に関する設問である。

調査地点である観光地へ来訪する際に利用した交通機関を集計しグラフ化したものが図25である。

この図より、最も多く利用されているのが「自家用車、社用・公用車」(73.7%)であり、次いで「JR新幹線」(16.1%)、「貸切バス・観光バス」(4.0%)であった。この上位3位で全体の9割以上(93.8%)を占めている。

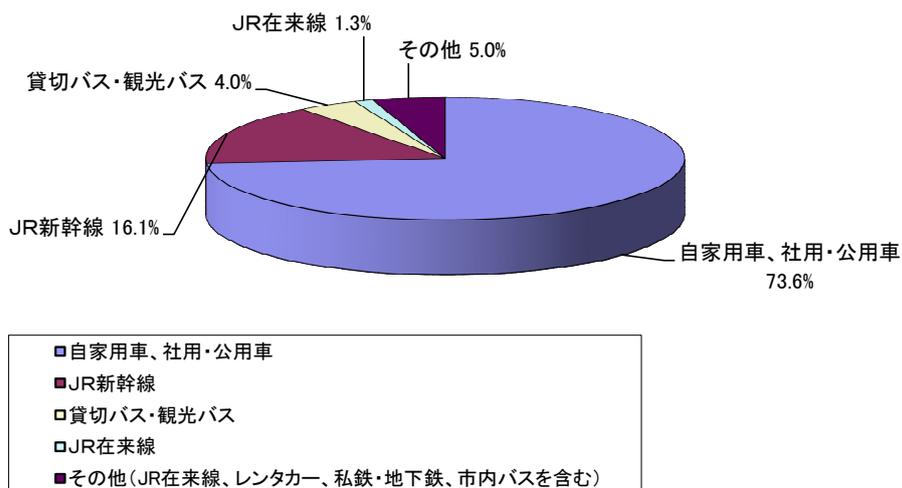


図25 観光地点への交通機関

表15 観光地点への交通機関内訳 (比率)

自家用車、社用・公用車	J R新幹線	貸切バス・観光バス	その他
73.6%	16.1%	4.0%	3.0%
J R在来線	高速バス	私鉄・地下鉄	レンタカー
1.3%	0.8%	0.5%	0.5%
市内バス	タクシー・ハイヤー	モノレール	市内電車
0.1%	0.1%	0.0%	0.0%

### (9) 問9 今回の旅行費用について

問9は、今回の旅行費用に関する設問である。

1人当たりの岩手県内における交通費を集計しグラフ化したものが図26、27であり、岩手県外における交通費を集計したグラフが図28、29である。

岩手県内の交通費においては、来訪者全体の6割以上（61.6%）が「2,000円未満」となっているが、県内からの来訪者がこの価格帯の約8割（79.1%）を占めているのに対し、県外からの来訪者は約4割（44.3%）にとどまり、残りの半数以上（55.7%）は2,000円以上を支出している。

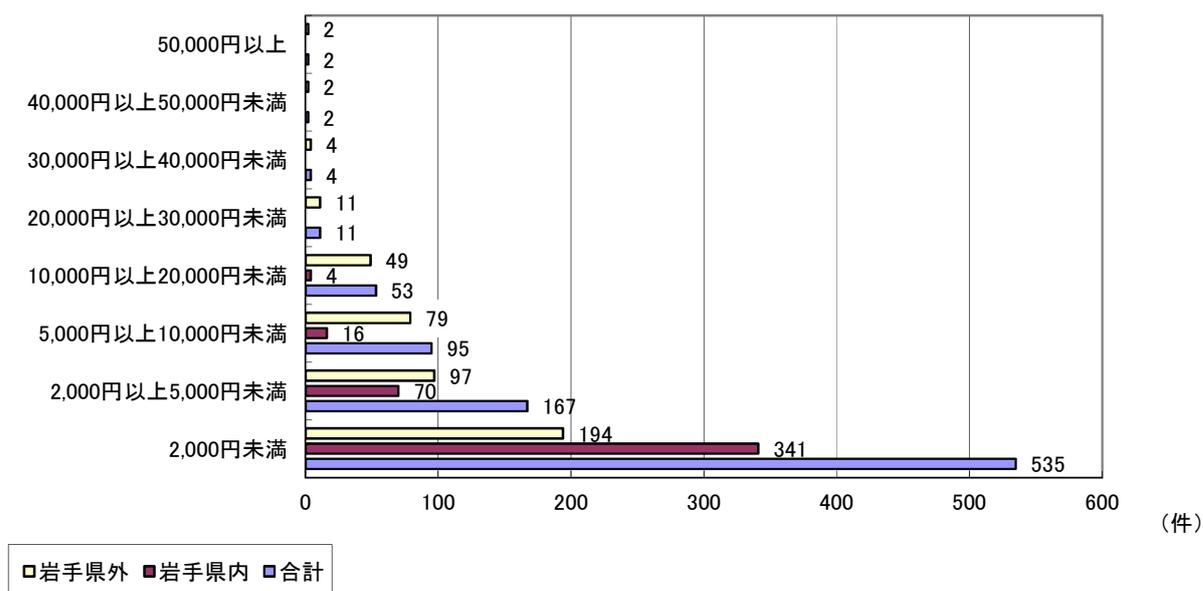
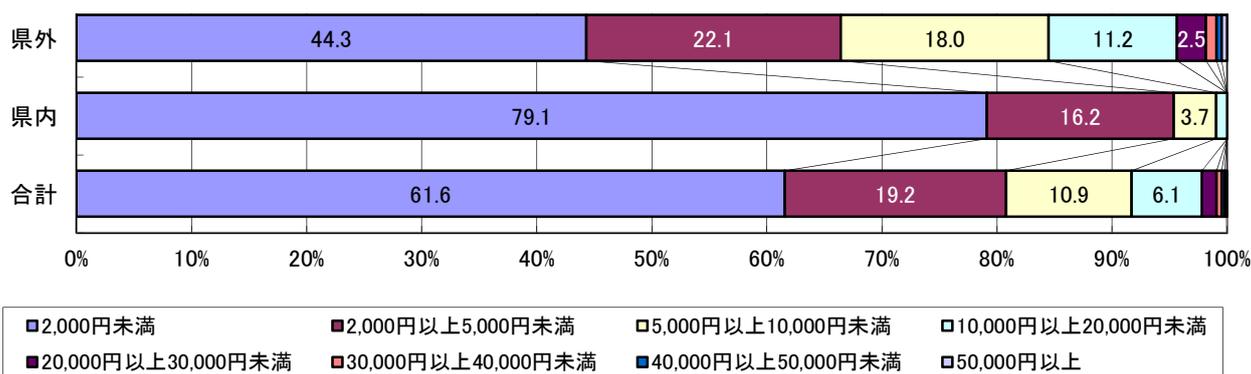


図26 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・件数）



	2,000円未満	2,000円以上5,000円未満	5,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上30,000円未満	30,000円以上40,000円未満	40,000円以上50,000円未満	50,000円以上
合計	61.6%	19.2%	10.9%	6.1%	1.3%	0.5%	0.2%	0.2%
岩手県内	79.1%	16.2%	3.7%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県外	44.3%	22.1%	18.0%	11.2%	2.5%	0.9%	0.5%	0.5%

図27 岩手県内／外旅行費用の比較（岩手県内交通費・比率）

岩手県外の交通費においては、来訪者全体の6割以上（62.1%）が「1,000円未満」となっている。県内からの来訪者ではこの価格帯で約10割（99.1%）を占めるものの、県外からの来訪者では約2割（25.8%）となっている。県内からの来訪者の多くが岩手県内のみの旅程であることが窺える。

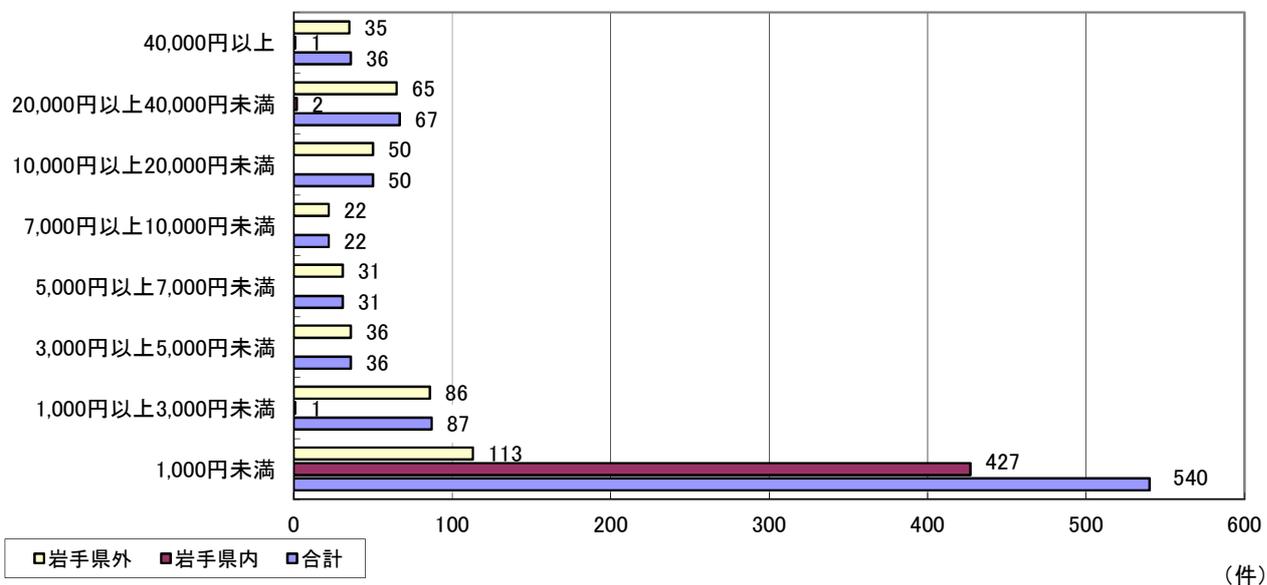
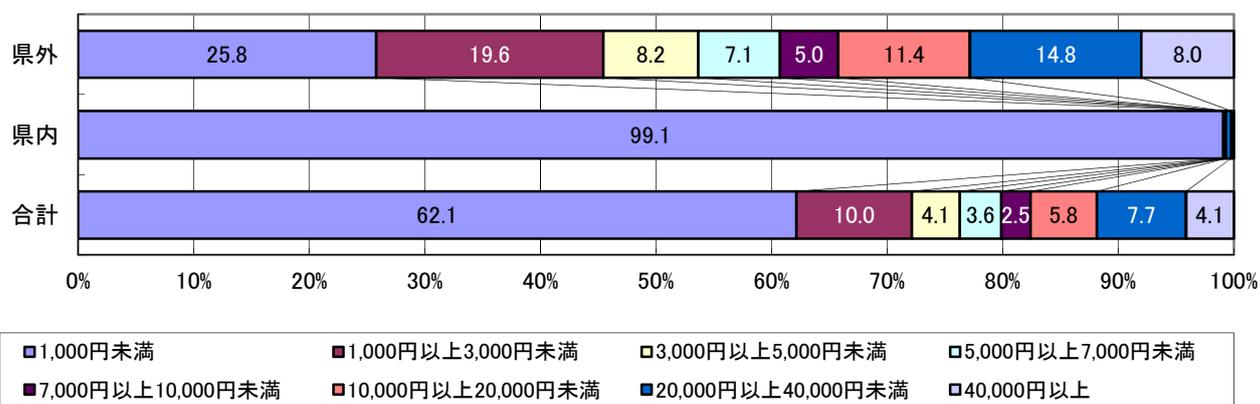


図28 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・件数）



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	62.1%	10.0%	4.1%	3.6%	2.5%	5.8%	7.7%	4.1%
岩手県内	99.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.2%
岩手県外	25.8%	19.6%	8.2%	7.1%	5.0%	11.4%	14.8%	8.0%

図29 岩手県内／外交通費比較（岩手県外・比率）

本設問より、1人当たりの岩手県内における宿泊費を集計しグラフ化したものが図30、31である。

宿泊費を県内・県外の来訪者別に比較すると、双方とも「1,000円未満」が最も多い。これは全来訪者のうち日帰りの割合が約5割以上（57.3%）を占めていることに所因する。

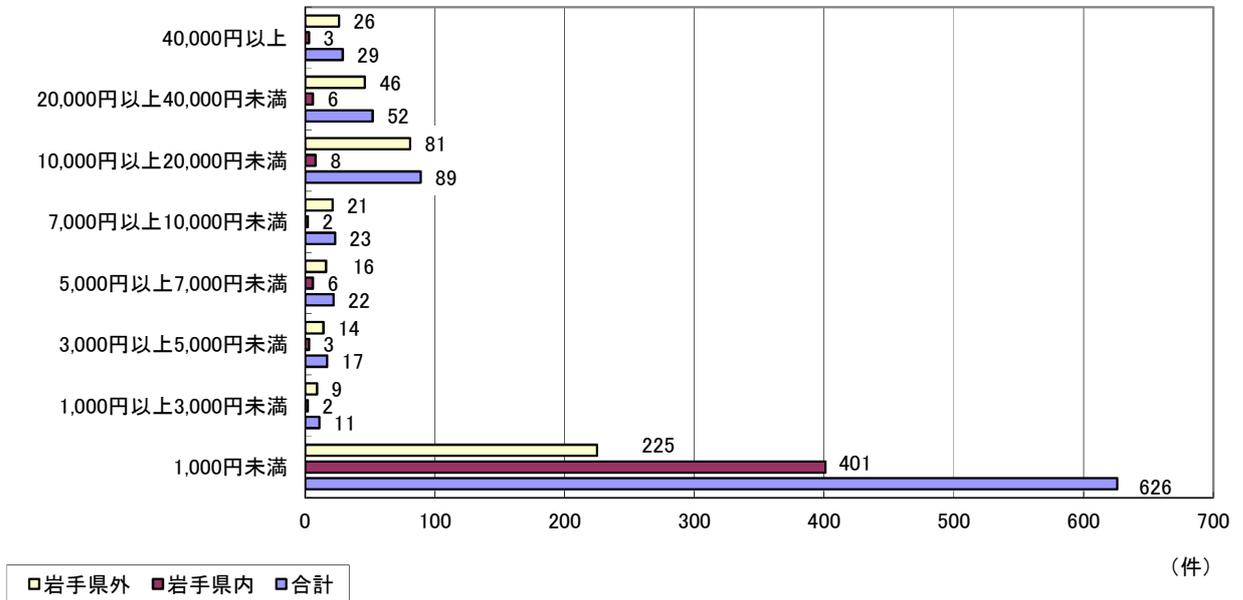
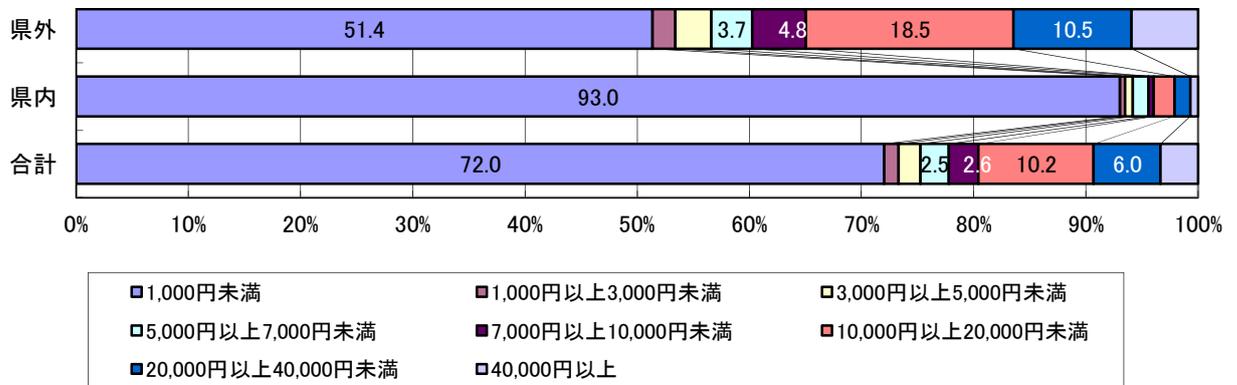


図30 岩手県内/外宿泊費比較（岩手県内・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	72.0%	1.3%	2.0%	2.5%	2.6%	10.2%	6.0%	3.3%
岩手県内	93.0%	0.5%	0.7%	1.4%	0.5%	1.9%	1.4%	0.7%
岩手県外	51.4%	2.1%	3.2%	3.7%	4.8%	18.5%	10.5%	5.9%

図31 岩手県内/外宿泊費比較（岩手県内・比率）

図30、図31で用いたデータより、日帰り来訪者及びパックツアー利用者を除いて再集計しグラフ化したものが、図30-1、図31-1である。

件数では「1,000円未満」と「10,000円以上（～20,000円未満項目）」に2つのピークがあり、前者が3割、後者が2割であった。前者に関しては、宿泊施設の選択肢「実家や知人・親戚宅利用」の約2割（17.9%）が影響していると思われる。

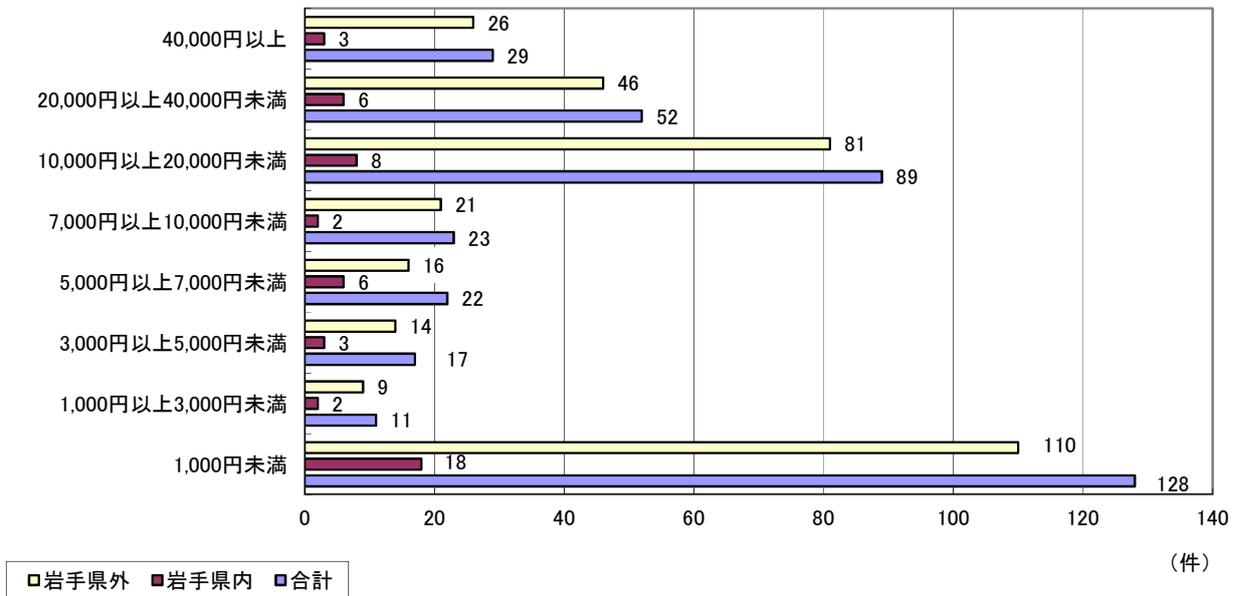
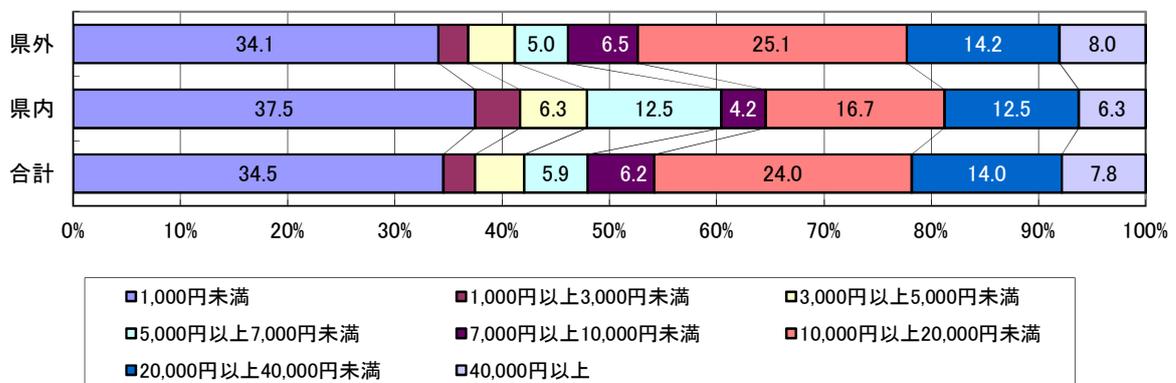


図30-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・件数 パックツアー利用者を除く宿泊者のみ)



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	34.5%	3.0%	4.6%	5.9%	6.2%	24.0%	14.0%	7.8%
岩手県内	37.5%	4.2%	6.3%	12.5%	4.2%	16.7%	12.5%	6.3%
岩手県外	34.1%	2.8%	4.3%	5.0%	6.5%	25.1%	14.2%	8.0%

図31-1 岩手県内/外宿泊費比較 (岩手県内・比率 パックツアー利用者を除く宿泊者のみ)

本設問より、1人当たりの土産代を集計しグラフ化したのが図32、33である。

この図より、1人当たりの土産代は、合計では「1,000円以上(3,000円未満)」が34.5%と最も多く、3,000円未満の内訳をみると、県内からの来訪者は8割(81.0%)となり、県外からの来訪者は約半数(51.3%)にとどまっている。3,000円以上の価格帯を土産代で支出しているのは、その多くが県外来訪者であった(県内来訪者:19.0%、県外来訪者:48.7%)。

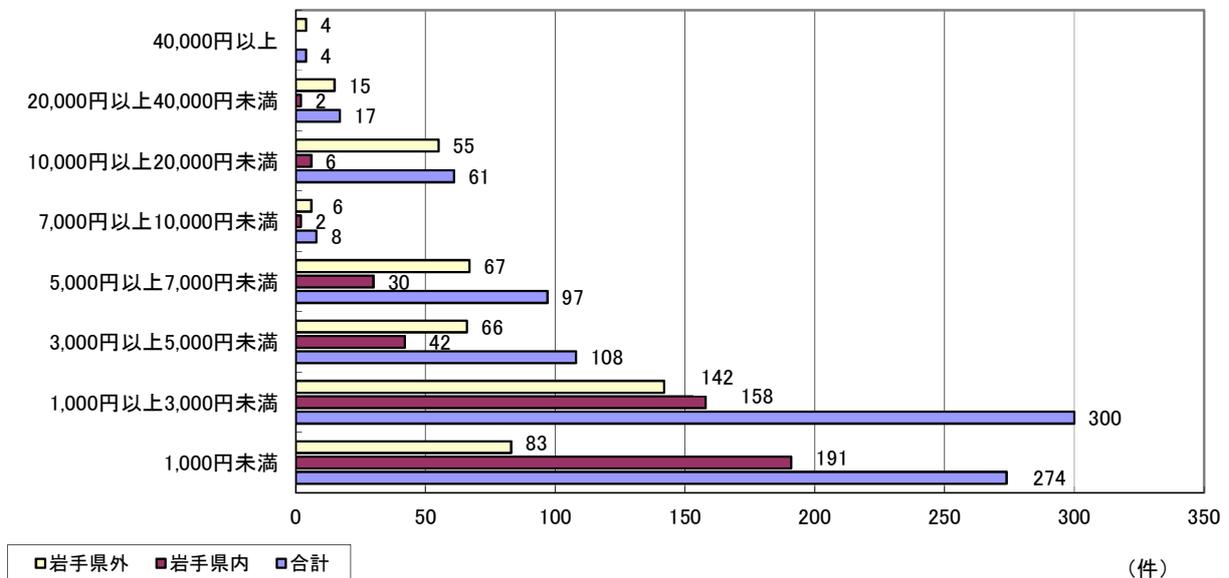
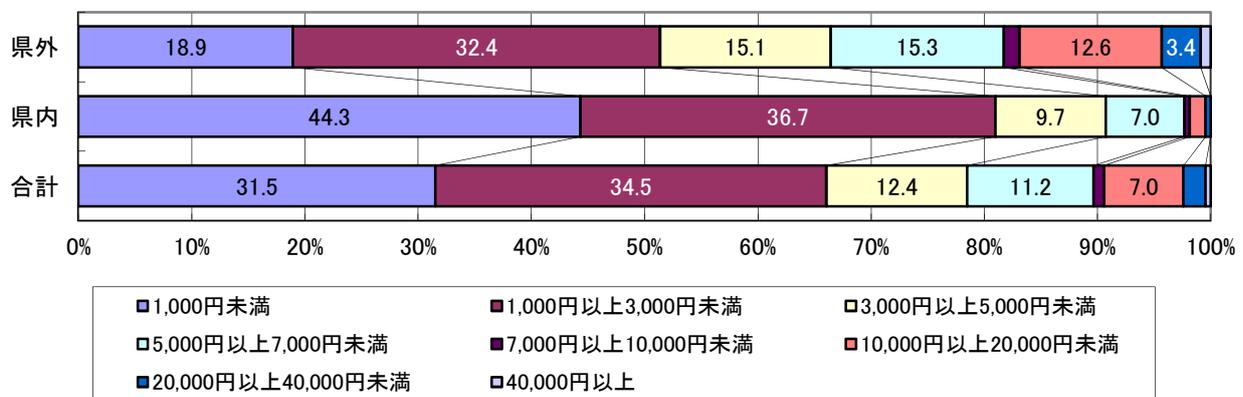


図32 岩手県内/外旅行費用の比較 (土産代・件数)



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	31.5%	34.5%	12.4%	11.2%	0.9%	7.0%	2.0%	0.5%
岩手県内	44.3%	36.7%	9.7%	7.0%	0.5%	1.4%	0.5%	0.0%
岩手県外	18.9%	32.4%	15.1%	15.3%	1.4%	12.6%	3.4%	0.9%

図33 岩手県内/外旅行費用の比較 (土産代・比率)

本設問より、1人当たりの飲食費をグラフ化したものが図34、35である。

この図より1人当たりの飲食費は、合計では「1,000円以上 3,000円未満」が46.1%と最も多い。県内・県外の来訪者別で見ると、県内からの来訪者では「20,000円以上 40,000円未満」がほぼ支出の上限であり、40,000円以上の価格帯では、県外からの来訪者のみあった（県内来訪者：0件、県外来訪者：4件）。

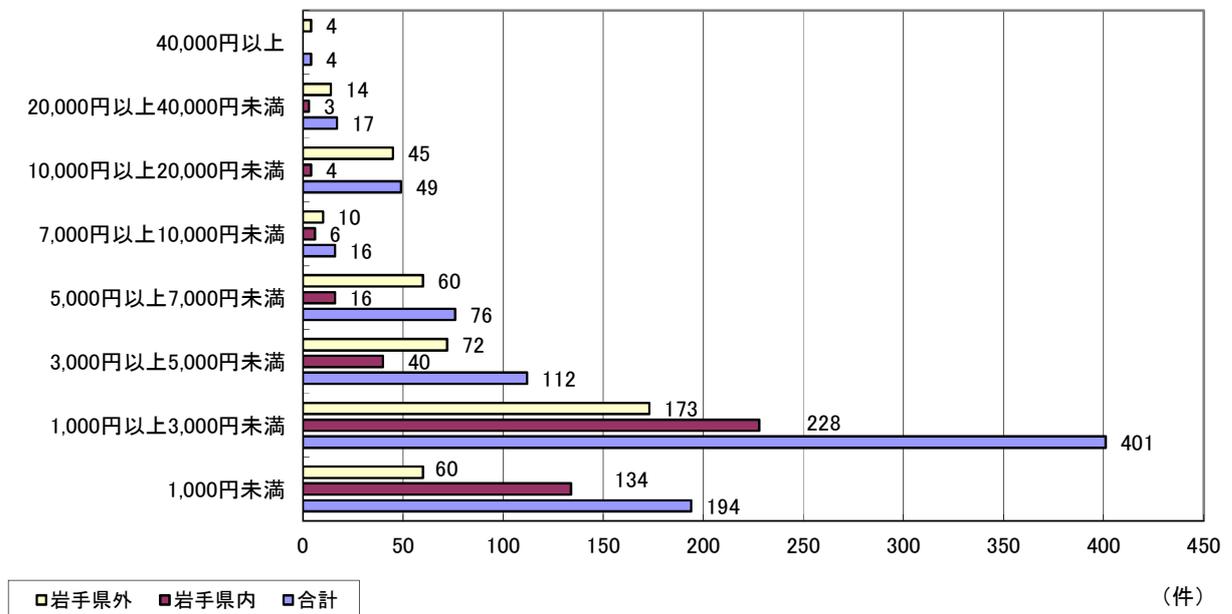


図34 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・件数）

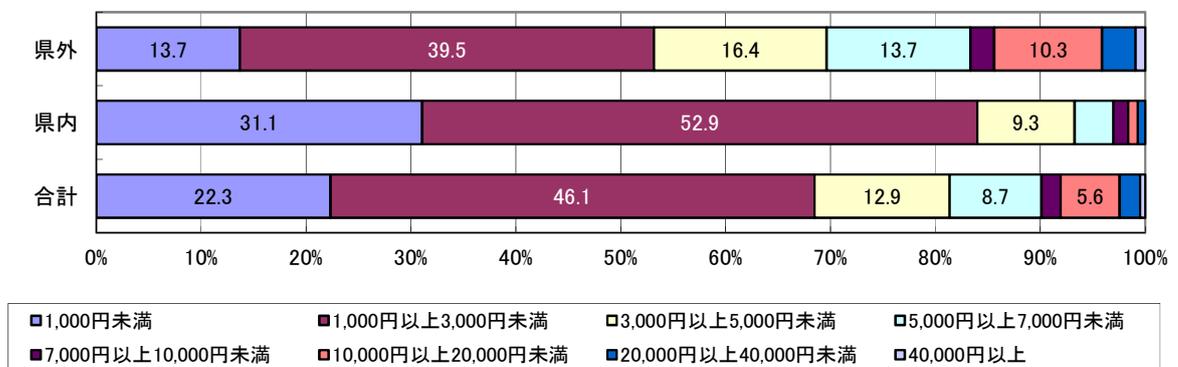


図35 岩手県内／外旅行費用の比較（飲食費・比率）

	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	22.3%	46.1%	12.9%	8.7%	1.8%	5.6%	2.0%	0.5%
岩手県内	31.1%	52.9%	9.3%	3.7%	1.4%	0.9%	0.7%	0.0%
岩手県外	13.7%	39.5%	16.4%	13.7%	2.3%	10.3%	3.2%	0.9%

本設問の結果、1人当たりの入場料を集計しグラフ化したのが図36、37である。

この図より、1人当たりの入場料は、県内・県外とも「1,000円未満」が最も多く、県内・県外の来訪者ともに、3,000円未満の価格帯までで9割以上を占めている（県内来訪者：97.9%、県外来訪者：93.1%）。

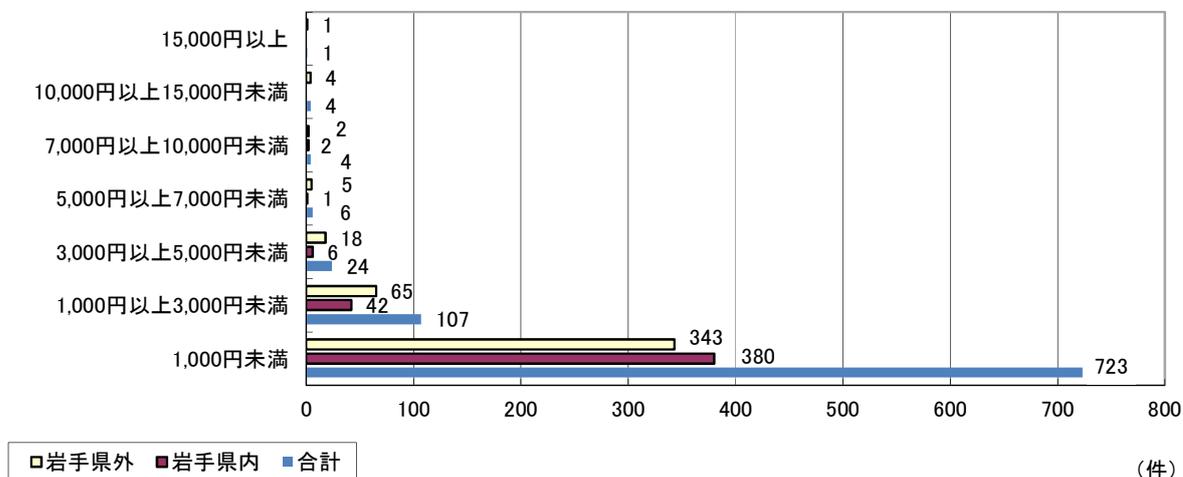
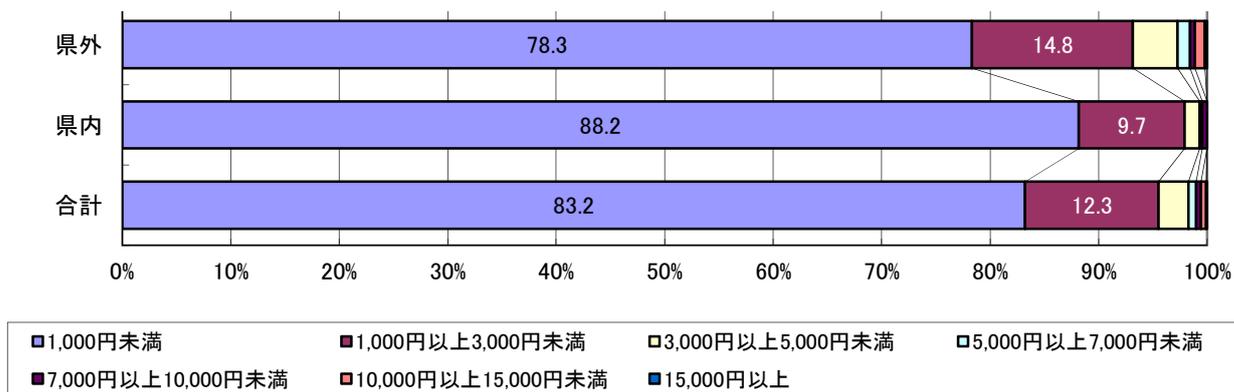


図36 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 15,000円未満	15,000円以上
合計	83.2%	12.3%	2.8%	0.7%	0.5%	0.5%	0.1%
岩手県内	88.2%	9.7%	1.4%	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%
岩手県外	78.3%	14.8%	4.1%	1.1%	0.5%	0.9%	0.2%

図37 岩手県内／外旅行費用の比較（入場料・比率）

本設問の結果、1人当たりのその他費用を集計しグラフ化したのが図38、39である。  
 この図より、1人当たりその他費用は、合計では「1,000円未満」が99.1%と、ほぼ10割を占めている。

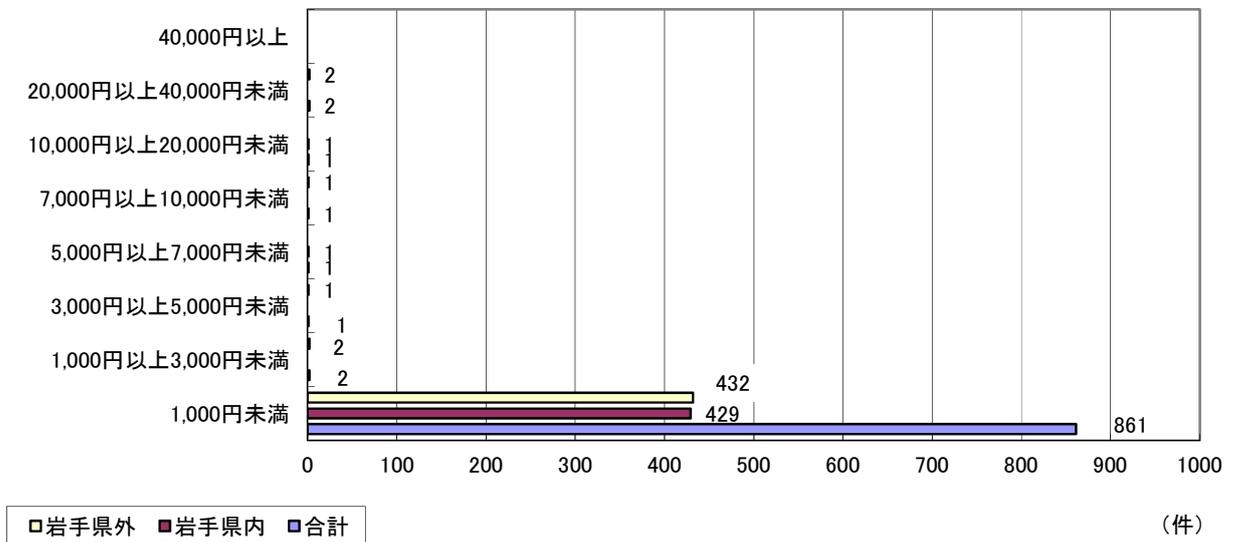
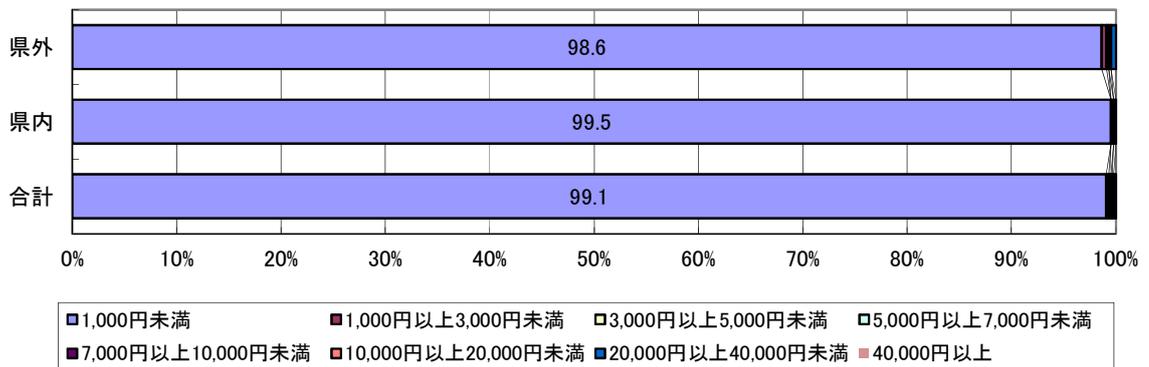


図38 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・件数）



	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	99.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.0%
岩手県内	99.5%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%
岩手県外	98.6%	0.5%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%	0.5%	0.0%

図39 岩手県内／外旅行費用の比較（その他費用・比率）

本設問の結果、1人当たりのパック料金を集計しグラフ化したのが図40、41である。  
 この図より、1人当たりのパック料金は、県内・県外の来訪者とも「1,000円未満」が9割以上（95.9%）であるが、これはパックツアーを利用しなかった来訪者が多いことに所以する。

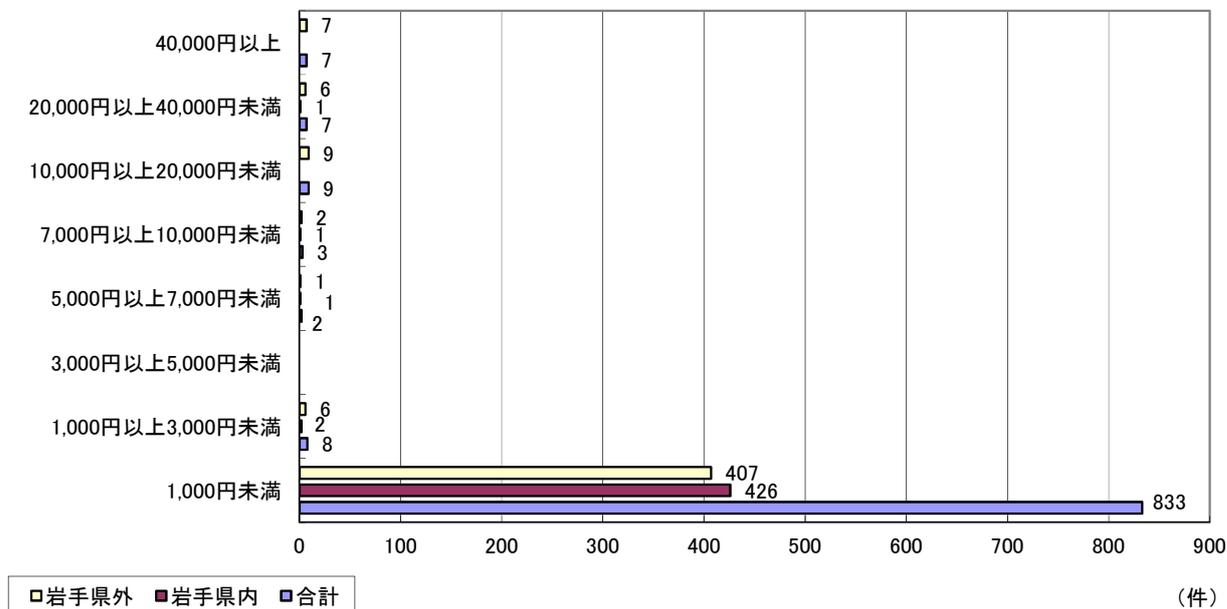


図40 岩手県内/外旅行費用の比較 (パック料金・件数)

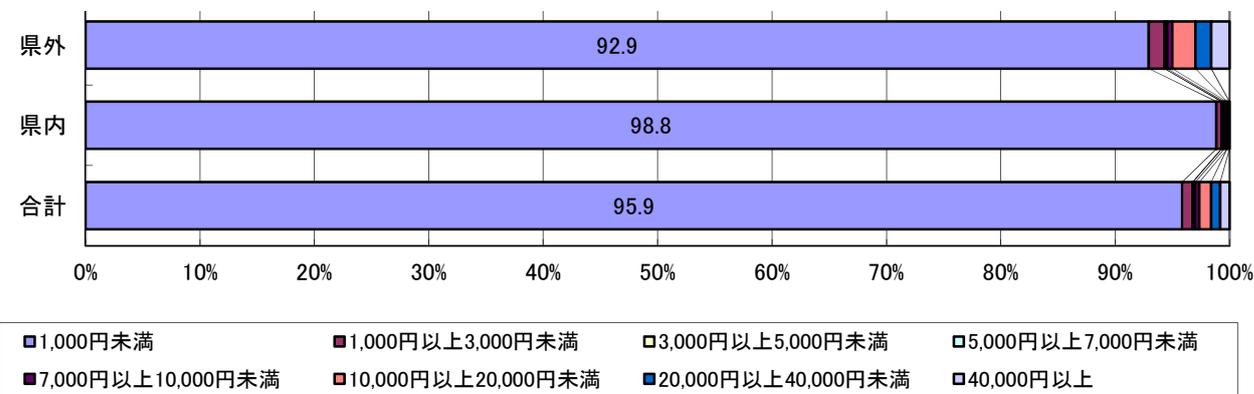


図41 岩手県内/外旅行費用の比較 (パック料金・比率)

	1,000円未満	1,000円以上 3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 7,000円未満	7,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 20,000円未満	20,000円以上 40,000円未満	40,000円以上
合計	95.9%	0.9%	0.0%	0.2%	0.3%	1.0%	0.8%	0.8%
岩手県内	98.8%	0.5%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%
岩手県外	92.9%	1.4%	0.0%	0.2%	0.5%	2.1%	1.4%	1.6%

図40、図41で用いたデータより、パックツアーを利用した来訪者のみに対して再集計シグラフ化したものが、図40-1、図41-1である。

比率を見ると、県内からの来訪者では 1,000円未満が5割強（58.3%）であるが、県外からの来訪者では10,000円以上が5割を超えている（57.9%）。また、パックツアー利用者の合計件数においては、県外からの来訪者が県内からの来訪者の3倍以上であった（県内来訪者：12件、県外来訪者：38件）。

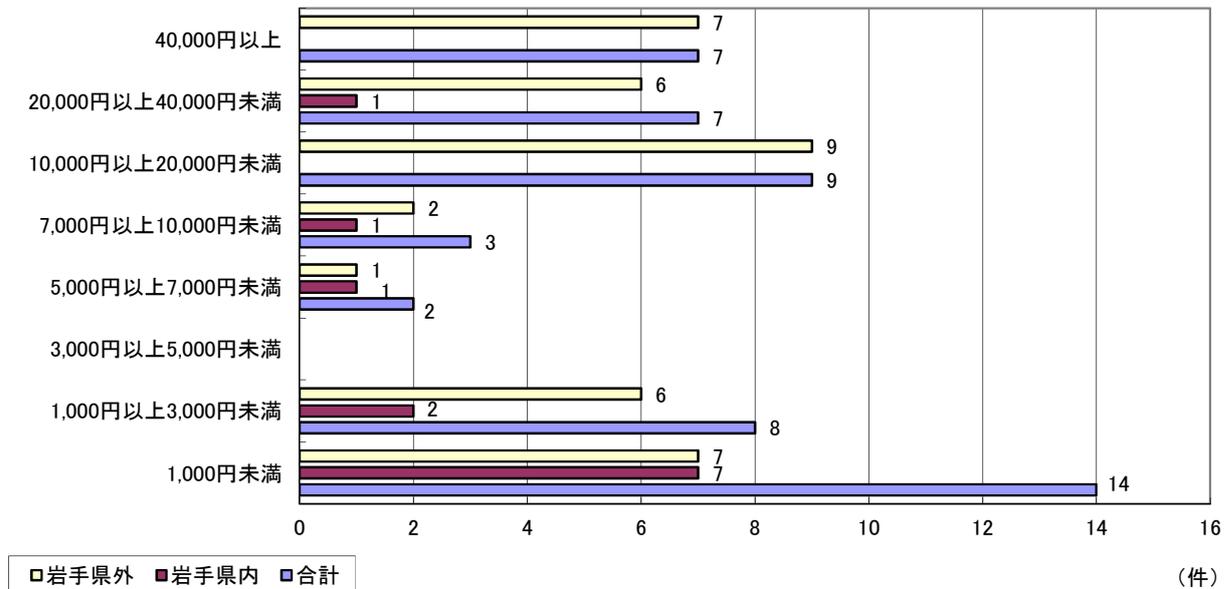
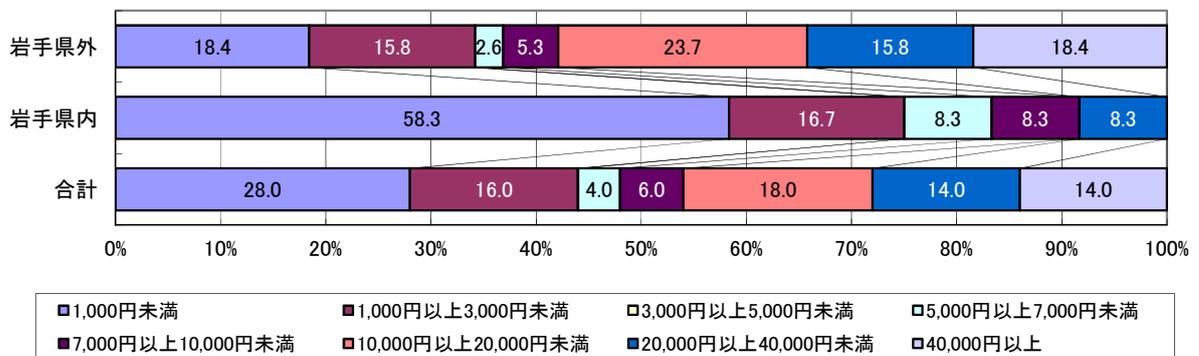


図40-1 岩手県内/外旅行費用の比較 (パック料金・件数 パックツアー利用者のみ)



	1,000円未満	1,000円以上3,000円未満	3,000円以上5,000円未満	5,000円以上7,000円未満	7,000円以上10,000円未満	10,000円以上20,000円未満	20,000円以上40,000円未満	40,000円以上
合計	28.0%	16.0%	0.0%	4.0%	6.0%	18.0%	14.0%	14.0%
岩手県内	58.3%	16.7%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%
岩手県外	18.4%	15.8%	0.0%	2.6%	5.3%	23.7%	15.8%	18.4%

図41-1 岩手県内/外旅行費用の比較 (パック料金・比率 パックツアー利用者のみ)